

泉大津沖埋立処分場等に係る
環境監視調査結果報告書
(令和7年11月分)

大阪湾広域臨海環境整備センター

目 次

I	泉大津沖埋立処分場及び泉大津基地	1
1	環境監視結果の概要	1
1.1	処分場の受入量(表1-1)	1
	環境監視調査地点位置図(図1-1)	2
1.2	環境監視の実施状況	3
1.3	環境監視の結果	5
[1]	海域調査	5
(1)	水質	5
①	日調査	5
②	週調査	5
③	月調査	5
④	年4回調査	6
(2)	海生生物	9
①	年4回調査	9
2	環境監視結果	11
	海域調査結果	11
	放流水の測定結果[日調査](表1-2)	13
	放流水、内水の測定結果[週調査](表1-3)	15
	基本監視点、内水、放流水及び補助監視点の測定結果[月調査・年4回調査](表1-4)	
	一般項目及び生活環境項目	16
	特殊項目	17
	健康項目	18
	ダイオキシン類	19
	植物プランクトン調査結果(表1-5)	20
	動物プランクトン調査結果(表1-6)	21
	魚卵調査結果(表1-7)	22
	稚仔魚調査結果(表1-8)	22
	底生生物調査結果(表1-9)	23
	付着生物観察結果(表1-10, 図1-2)	24
	漁業生物調査結果(表1-11)	28

II	大阪基地	29
1	環境監視結果の概要	31
1.1	環境監視の実施状況	31
1.2	環境監視の結果	31
(1)	交通量	31
(2)	騒音・振動	32
(3)	大気質	32
	環境監視調査地点位置図(図2-1)	34
2	環境監視結果	35
	監視結果総括(交通量、騒音・振動、大気質)(表2-1)	35
	交通量・騒音・振動調査結果(表2-2)	36
	大気質調査結果(表2-3~9, 図2-2~6)	37
III	堺基地	45
1	環境監視結果の概要	47
1.1	環境監視の実施状況	47
1.2	環境監視の結果	47
(1)	交通量	47
(2)	騒音・振動	48
(3)	大気質	49
	環境監視調査地点位置図(図3-1)	50
2	環境監視結果	51
	監視結果総括(交通量、騒音・振動、大気質)(表3-1)	51
	交通量・騒音・振動調査結果(表3-2)	52
	大気質調査結果(表3-3~9, 図3-2~6)	53

I 泉大津沖埋立処分場及び泉大津基地

1 環境監視結果の概要

1. 1 処分場の受入量

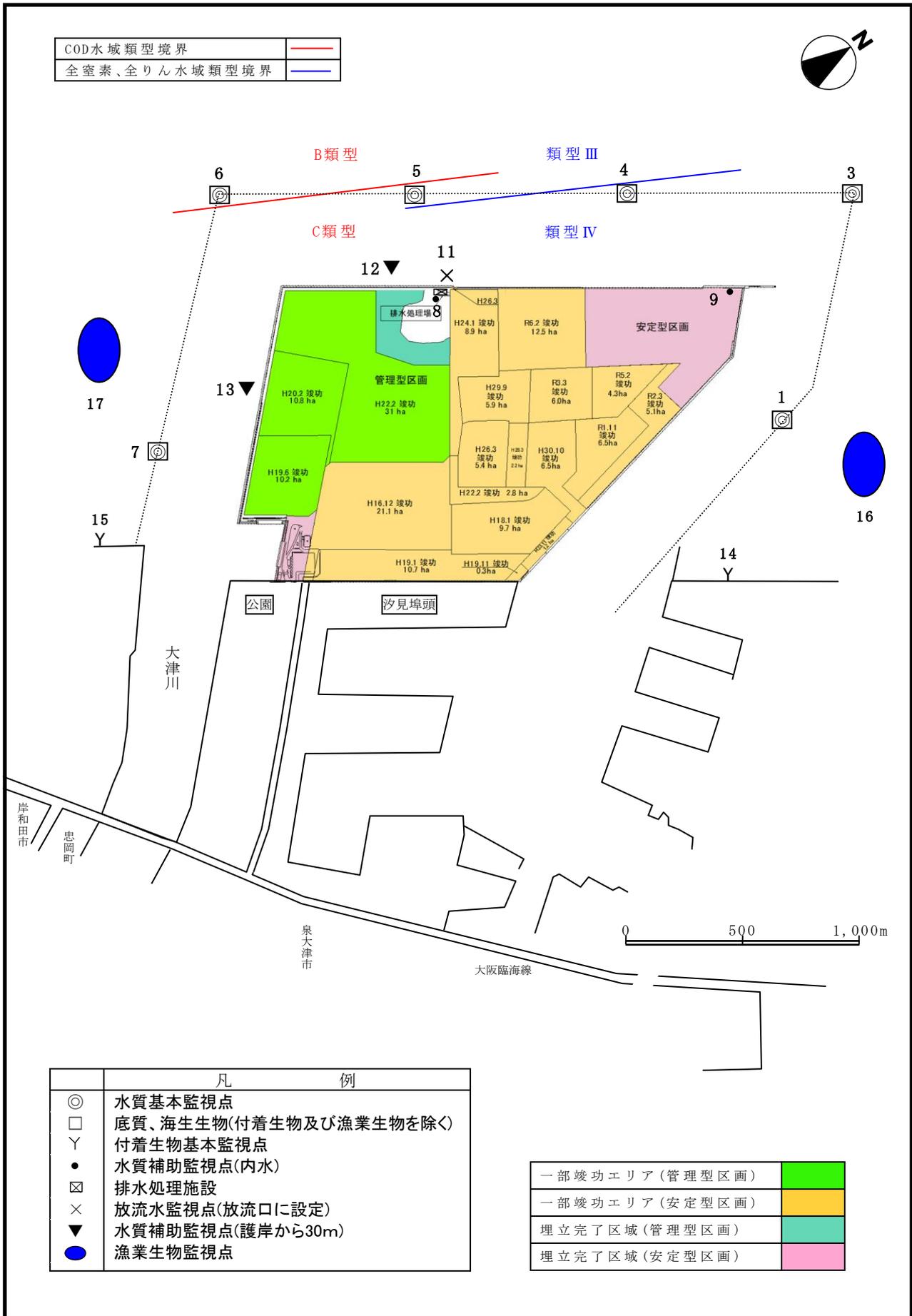
令和7年11月の大阪基地等4基地での廃棄物等の受入れ状況は表1-1に示すとおりである。泉大津沖埋立処分場では、直接投入の陸上残土18,135.0t（残土17,185.0t、購入残土950.0t(安定型835.0t、管理型115.0t)）の受入れを行った。

なお、泉大津基地への陸上輸送による陸上残土の受け入れは令和7年3月に終了した。

表1-1 廃棄物等の受入れ状況（令和7年11月分）

(単位：t)

廃棄物の種類	大阪基地	堺基地	和歌山基地	泉大津基地	泉大津沖埋立処分場			
					直接投入	埋立処分量		
一般廃棄物	可燃ごみ(焼却灰)	10,127.8	6,154.6	1,154.1	—	—		
	ばいじん処理物	2,847.8	4,234.0	422.0	—	—		
	不燃・粗大ごみ	119.6	251.4	45.9	—	—		
	し尿処理汚泥	—	12.2	5.9	—	—		
	溶融処理物	—	—	—	—	—		
合計	13,095.2	10,652.2	1,627.9	—	—			
産業廃棄物	汚泥	上水汚泥	122.7	65.9	214.2	—	—	
		下水汚泥	179.3	1,080.6	45.1	—	—	
		合計	302.0	1,146.5	259.3	—	—	
	民間産業廃棄物	産管	燃え殻	222.7	47.0	17.3	—	—
			汚泥	668.8	3,637.0	17.5	—	—
			鉱さい	571.7	288.0	3,411.4	—	—
			ばいじん	226.3	—	494.6	—	—
			その他の廃棄物	152.8	2.8	—	—	—
		産安	廃プラスチック	118.0	—	2.4	—	—
			ゴムくず	—	—	—	—	—
			金属くず	—	—	—	—	—
			ガラス陶磁器くず	364.2	—	39.4	—	—
			がれき類	2,248.8	—	1,166.2	—	—
	小計	4,573.3	3,974.8	5,148.8	—	—		
	産安	廃プラスチック	—	—	—	—	—	
ゴムくず		—	—	—	—	—		
金属くず		—	—	—	—	—		
ガラス陶磁器くず		—	—	—	—	—		
がれき類		—	—	—	—	—		
小計	—	—	—	—	—			
合計	4,573.3	3,974.8	5,148.8	—	—			
合計	4,875.3	5,121.3	5,408.1	—	—			
陸上残土	安定型	残土	—	—	—	17,185.0	17,185.0	
		購入残土	—	—	—	835.0	835.0	
	小計	—	—	—	18,020.0	18,020.0		
	管理型	残土	2,757.7	239.7	—	—	—	
購入残土		—	—	—	115.0	115.0		
小計	2,757.7	239.7	—	—	115.0	115.0		
浚渫土砂	安定型	浚渫土砂	—	—	—	—	—	
		無料浚渫土	—	—	—	—	—	
	小計	—	—	—	—	—		
	管理型	浚渫土砂	—	—	—	—	—	
無料浚渫土		—	—	—	—	—		
小計	—	—	—	—	—			
総計	20,728.2	16,013.2	7,036.0	0.0	18,135.0	18,135.0		
(埋立量内訳)					振替量(安定型⇒管理型)	17,185.0	管理型	17,300.0
							安定型	835.0



注：残土のみの受入であり、ポンド部の投入はなく、覆土の作業のみを行った。

図 1 - 1 環境監視調査地点位置図（泉大津沖埋立処分場及び泉大津基地：令和 7 年 11 月）

1. 2 環境監視の実施状況

環境監視計画に基づく令和7年11月の環境監視の実施状況は次表のとおりである。

環境項目	測定・調査項目	測定点	測定点数	頻度	実施日
水質	濁度、水温、COD(化学的酸素要求量)、DO(溶存酸素量)、pH(水素イオン濃度)	管理型排水処理施設放流水 (St. 11 ^{注2})	1地点	連続測定	11/1~30
	SS(浮遊物質)			週1回	11/4, 11, 18, 25
	COD、pH、全窒素			月1回	11/11
	透明度、水温、SS、COD、DO、pH	補助監視点(内水) (St. 8, 9 ^{注1})	2地点	週1回	11/4, 11, 18, 25
	クロロフィルa、FSS(不揮発性浮遊物質)、塩分			年4回	11/11
	濁度、透明度、水温 SS、クロロフィルa、FSS、 塩分、COD、DO、pH	基本監視点 (St. 1, 3~7) 補助監視点 (St. 12, 13)	8地点	月1回	11/11
	全窒素、全磷、大腸菌数、 ノルマルヘキサン抽出物質	基本監視点 (St. 1, 3~7) 補助監視点 (St. 8, 12, 13) 放流水	10地点	年4回	11/11
	フェノール類、銅、亜鉛、 総クロム、溶解性鉄、 溶解性マンガ、硝酸性窒素、 亜硝酸性窒素				
	カドミウム、全シアン、有機磷、 鉛、六価クロム、砒素、 総水銀、アルキル水銀、 PCB、ジクロロメタン、 四塩化炭素、 1,2-ジクロロエタン、 1,1-ジクロロエチレン、 シス-1,2-ジクロロエチレン、 1,1,1-トリクロロエタン、 1,1,2-トリクロロエタン、 トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、 1,3-ジクロロプロペン、 チウラム、シマジン、 チオベンカルブ、 ベンゼン、セレン、硝酸性窒素 及び亜硝酸性窒素、 ほう素、ふっ素、 1,4-ジオキサン、アンモニア等、 クロロエチレン、 1,2-ジクロロエチレン (注)有機磷及びほう素は St. 8, 9, 11のみ、クロロエチレン 及び1,2-ジクロロエチレンは St. 12, 13のみ測定	基本監視点 (St. 1, 3~7) 補助監視点 (St. 12, 13)	8地点	年2回	—
		補助監視点 (St. 8)	1地点	年4回	11/11
		放流水 (St. 11)	1地点	年4回	11/11
		補助監視点 (St. 9 ^{注1})	1地点	年1回	—
		放流水 (St. 11) 補助監視点 (St. 8) 補助監視点 (St. 12, 13)	4地点	年4回	11/11

注:1. St.9は埋立ての進捗に伴って、内水が消滅したため、令和3年度より測定していない。

:2. 11月17日(月)~11月18日(火)の放流水は、濁度上昇により放流停止。

環境項目	測定・調査項目	測定点	測定点数	頻度	実施日
底質	含水率、粒度組成、 COD、強熱減量、 全窒素、硫化物、 全燐、カドミウム、シアン、 有機燐、鉛、六価クロム、 PCB、砒素、総水銀、 アルキル水銀、トリクロエチレン、 テトラクロエチレン、 銅、亜鉛、ふっ素	基本監視点 (St. 1, 3 ~ 7)	6 地点	年 2 回	—
海生生物	底生生物、プランクトン	基本監視点 (St. 1, 3 ~ 7)	6 地点	年 4 回	11/11, 12
	魚卵・稚仔魚				11/12
	付着生物	St. 14, 15	2 地点		11/12
	漁業生物	St. 16, 17	2 地点		11/11 ~ 12
悪臭	臭気強度、臭気濃度	D 1, D 2	2 地点 風上・風下	年 2 回	—
	悪臭物質 (悪臭防止法22物質)	E	1 地点	年 1 回	—
発生ガス	メタン濃度	F 1, F 2	2 地点	年 2 回	—

1. 3 環境監視の結果

〔1〕 海域調査

(1) 水質

水質の調査結果を表1-2～表1-4に示す。

① 日調査

放流水（表1-2）

[管理型排水処理施設放流水(St. 11)]

濁度は8～47度(カリン)、CODは21～42mg/L(管理基準値60mg/L)、pHは7.0～8.2(管理基準値5.0以上9.0以下)であり、特に問題のない結果であった。

② 週調査

内水（表1-3）

[管理型区画内水(St. 8)]

SSは4～7mg/L、CODは37～43mg/Lであった。

[安定型区画内水(St. 9)]

埋立ての進捗に伴って、内水が消滅したため、令和3年度より測定を終了した。

放流水（表1-3）

[管理型排水処理施設放流水(St. 11)]

放流水のSSは3～6mg/L(管理基準値50mg/L)であった。

③ 月調査

海 域（表1-4（1））

[基本監視点(St. 1, 3～7)]

（表層）

濁度は全監視点1度(カリン)(目安値11度(カリン))、FSSは<1～1mg/L(監視基準値5mg/L)、CODは1.7～2.3mg/L、D0は7.0～7.5mg/L、pHは8.0～8.1であり、特に問題のない結果であった。

（底層）

濁度は全監視点1度(カリン)(目安値9度(カリン))、FSSは<1～2mg/L(監視基準値7mg/L)、CODは1.6～2.1mg/L、D0は6.8～7.3mg/L、pHは8.0～8.1であり、特に問題のない結果であった。

St. 1, 3, 4, 5, 7 : C類型 (COD 8mg/L以下、D0 2mg/L以上、pH7.0~8.3)

St. 6 : B類型 (COD 3mg/L以下、D0 5mg/L以上、pH7.8~8.3)

[補助監視点(St. 12, 13)]

(表層)

CODは2.0及び1.7mg/L、D0は7.0及び7.3mg/L、pHは両監視点ともに8.1でC類型環境基準を満足していた。

(底層)

CODは2.0及び1.9mg/L、D0は6.9及び6.7mg/L、pHは両監視点ともに8.1で、C類型環境基準を満足していた。

(参考) 環境基準

St. 12, 13 : C類型 (COD 8mg/L以下、D0 2mg/L以上、pH7.0~8.3)

放流水 (表 1 - 4 (1))

[管理型排水処理施設放流水(St. 11)]

CODは42mg/L (管理基準値60mg/L)、pHは7.9 (管理基準値5.0以上9.0以下)、全窒素は32mg/L (管理基準値60mg/L) であった。

④年 4 回 調 査

海 域 (表 1 - 4 (1) ~ (2) 、 表 1 - 4 (4))

[基本監視点(St. 1, 3~7)]

(生活環境項目)

(表層)

全窒素は0.31~0.51mg/L、全磷は0.040~0.052mg/L、大腸菌数は8~33CFU/100mL、ノルマルキサン抽出物質はいずれも報告下限値未満であり、特に問題のない結果であった。

(底層)

全窒素は0.30~0.36mg/L、全磷は0.042~0.056mg/Lであり、全磷以外は特に問題のない結果であった。

なお、全磷については、監視点St. 6 (0.056mg/L) で環境基準 (類型Ⅲ ; 0.05mg/L 以下) を上回っていた。事業実施前の当海域における水質調査の結果は下層で0.020~0.19mg/Lであり、この範囲内にあるため、本事業による影響は非常に小さいと考えられる。

(参考) 環境基準

St. 1, 3, 5, 7 : 類型Ⅳ (全窒素 1 mg/L 以下、全磷0.09mg/L 以下)

St. 5, 6 : 類型Ⅲ (全窒素0.6mg/L 以下、全磷0.05mg/L 以下)

St. 1, 3~7 : 大腸菌数 (B・C類型は基準なし)

St. 6 : n-ヘキサン抽出物質 (B類型 検出されないこと。C類型は基準なし。)

(特殊項目)

(表層)

亜鉛は0.002～0.004mg/L、溶解性鉄は全監視点0.02mg/L、硝酸性窒素は0.08～0.14mg/L、亜硝酸性窒素は0.028～0.033mg/Lであり、その他の項目はいずれも報告下限値未満であった。

(底層)

亜鉛は0.002～0.003mg/L、溶解性鉄は全監視点0.02mg/L、硝酸性窒素は全監視点0.08mg/L、亜硝酸性窒素は0.026～0.032mg/Lであり、その他の項目はいずれも報告下限値未満であった。

[補助監視点(St. 12, 13)]

(生活環境項目)

(表層)

全窒素は0.39及び0.45mg/L、全リンは0.043及び0.045mg/L、大腸菌数は27及び12CFU/100mL、ノルマルヘキサン抽出物質は両監視点ともに報告下限値未満であり、特に問題のない結果であった。

(底層)

全窒素は0.36及び0.35mg/L、全リンは0.046及び0.050mg/Lであり、特に問題のない結果であった。

(参考) 環境基準

St. 12, 13 : 類型Ⅳ (全窒素 1 mg/L 以下、全リン0.09mg/L 以下)

C 類型 (大腸菌数基準なし、n-ヘキサン抽出物質基準なし)

(特殊項目)

(表層)

亜鉛は0.012及び0.004mg/L、溶解性鉄は両監視点ともに0.02mg/L、硝酸性窒素は0.14及び0.17mg/L、亜硝酸性窒素は0.026及び0.025mg/Lであり、その他の項目は両監視点ともに報告下限値未満であった。

(底層)

亜鉛は0.004及び0.003mg/L、溶解性鉄は両監視点ともに0.02mg/L、硝酸性窒素は0.08及び0.07mg/L、亜硝酸性窒素は0.029及び0.025mg/Lであり、その他の項目は両監視点ともに報告下限値未満であった。

(ダイオキシン類)

ダイオキシン類は0.068及び0.076pg-TEQ/L (SSは3及び2 mg/L)であり、環境基準(1pg-TEQ/L以下)を満足していた。

内 水（表 1 - 4（1）～（4））

[管理型区画内水(St. 8)]

(一般項目)

FSSは3 mg/Lであった。

(生活環境項目)

全窒素は35mg/L、全磷は0.042mg/Lであり、大腸菌数、ノルマルヘキサン抽出物質は報告下限値未満であった。

(特殊項目)

銅は0.030mg/L、亜鉛は0.024mg/L、溶解性マンガンは0.10mg/L、硝酸性窒素は0.09mg/Lであり、その他の項目は報告下限値未満であった。

(健康項目)

砒素は0.005mg/L、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素は0.09mg/L、ほう素は1.3mg/L、ふっ素は1.5mg/L、アンモニア等は10mg/Lであり、その他の項目は報告下限値未満であった。

(ダイオキシン類)

ダイオキシン類は0.025pg-TEQ/Lであり、SSは4 mg/Lであった。

放 流 水（表 1 - 4（1）～（4））

[管理型排水処理施設放流水(St. 11)]

(生活環境項目)

全窒素は32mg/L(管理基準値60mg/L)、全磷は0.047mg/L(管理基準値8 mg/L)であり、大腸菌数、ノルマルヘキサン抽出物質は報告下限値未満であった。

(特殊項目)

銅は0.032mg/L、亜鉛は0.036mg/L、溶解性マンガンは0.13mg/Lであり、その他の項目は報告下限値未満であった。

(健康項目)

砒素は0.006mg/L、ほう素は1.5mg/L、ふっ素は1.5mg/L、アンモニア等は11mg/Lであり、その他の項目は報告下限値未満であった。

(ダイオキシン類)

ダイオキシン類は0.0083pg-TEQ/L、SSは3 mg/Lで、ダイオキシン類の管理基準値(10pg-TEQ/L)、さらにSSの管理基準値(50mg/L)を下回っていた。

(2) 海生生物

海生生物の調査結果を表1-5～表1-11及び図1-2に示す。

①年4回調査

ア) 植物プランクトン (表1-5(1)～(2))

種類数が表層では14～28種類(総種類数40種類)、底層では12～26種類(総種類数37種類)の範囲にあり、細胞数は表層では27～64細胞/mL、底層では37～110細胞/mLの範囲であった。

イ) 動物プランクトン (表1-6)

種類数が25～36種類(総種類数47種類)の範囲にあり、個体数は58,247～79,737個体/m³の範囲であった。

ウ) 魚卵 (表1-7)

種類数が1～3種類(総種類数3種類)であり、個数は84～934個/1,000 m³の範囲であった。

エ) 稚仔魚 (表1-8)

種類数が3～4種類(総種類数6種類)の範囲にあり、個体数は32～159個体/1,000 m³の範囲であった。

オ) 底生生物 (表1-9)

種類数が5～11種類(総種類数17種類)の範囲にあり、個体数は232～410個体/0.1 m²の範囲であった。

カ) 付着生物 (表1-10(1)～(4)、図1-2)

[ベルトランセクト法による観察]

種類数は植物が調査点14で7種類、調査点15で10種類、動物が調査点14で22種類、調査点15で25種類観察された。

鉛直分布では調査点14及び15ともに、植物のイギス科が広範囲にみられ、動物のカンザシゴカイ科が広範囲に被覆していた。

[坪刈り調査]

植物は種類数が両地点で1～5種類(総種類数11種類)の範囲にあり、湿重量は0.1g未満～0.1g/0.09 m²であった。動物は種類数が両地点で19～37種類(総種類数74種類)の範囲にあり、個体数は62～3,610個体/0.09 m²、湿重量は3.0～47.0g/0.09 m²の範囲であった。

キ) 漁業生物 (表 1-11(1)~(2))

種類数は調査点16が7種類、調査点17が5種類 (総種類数8種類)、
個体数では調査点16が19個体/網、調査点17が96個体/網、さらに湿重量では調査点
16が6,181.0 g /網、調査点17が5,106.8 g /網であった。

2 環境監視結果

海域調査結果

表 1 - 2 放流水の測定結果 [日調査] (令和 7 年 11 月)

測定日 (曜日)	濁度 (度(カオリン)) MIN.~MAX.	水温 (℃) MIN.~MAX.	COD (mg/L) MIN.~MAX.	DO (mg/L) MIN.~MAX.	pH (-) MIN.~MAX.
1(土)	12 ~ 15 (13)	15.9 ~ 16.4 (16.1)	23 ~ 23 (23)	0.1 ~ 4.6 (2.1)	7.0 ~ 7.4 (-)
2(日)	13 ~ 15 (14)	16.2 ~ 16.7 (16.5)	23 ~ 24 (23)	0.0 ~ 0.1 (0.0)	7.0 ~ 7.1 (-)
3(月)	11 ~ 14 (12)	15.4 ~ 16.9 (16.4)	23 ~ 24 (23)	0.0 ~ 0.8 (0.1)	7.0 ~ 7.0 (-)
4(火)	10 ~ 21 (16)	13.6 ~ 16.9 (15.4)	22 ~ 24 (23)	0.2 ~ 5.6 (3.5)	7.0 ~ 7.5 (-)
5(水)	17 ~ 23 (20)	15.8 ~ 16.1 (16.0)	23 ~ 24 (24)	4.9 ~ 5.5 (5.2)	7.4 ~ 7.6 (-)
6(木)	13 ~ 17 (15)	15.6 ~ 16.3 (15.9)	23 ~ 24 (23)	4.5 ~ 5.4 (5.0)	7.4 ~ 7.5 (-)
7(金)	10 ~ 13 (11)	15.5 ~ 19.2 (16.1)	23 ~ 24 (24)	3.8 ~ 5.4 (4.4)	7.4 ~ 7.6 (-)
8(土)	9 ~ 11 (10)	15.8 ~ 16.8 (16.3)	23 ~ 24 (24)	3.8 ~ 5.2 (4.4)	7.5 ~ 7.6 (-)
9(日)	8 ~ 9 (9)	16.1 ~ 16.5 (16.3)	24 ~ 24 (24)	3.2 ~ 4.4 (3.9)	7.5 ~ 7.6 (-)
10(月)	8 ~ 11 (9)	13.8 ~ 17.2 (16.5)	23 ~ 25 (25)	3.0 ~ 5.4 (3.7)	7.6 ~ 8.0 (-)
11(火)	9 ~ 20 (13)	15.7 ~ 16.9 (16.3)	24 ~ 26 (25)	3.4 ~ 4.7 (3.9)	7.8 ~ 8.1 (-)
12(水)	9 ~ 10 (9)	13.2 ~ 17.2 (15.6)	24 ~ 25 (24)	4.5 ~ 5.3 (4.8)	7.5 ~ 7.9 (-)
13(木)	9 ~ 10 (9)	15.1 ~ 15.5 (15.3)	24 ~ 25 (24)	4.3 ~ 5.3 (4.9)	7.6 ~ 7.8 (-)
14(金)	9 ~ 9 (9)	15.0 ~ 17.1 (15.6)	24 ~ 26 (25)	3.5 ~ 5.1 (4.1)	7.7 ~ 8.0 (-)
15(土)	9 ~ 13 (11)	15.3 ~ 16.6 (15.9)	26 ~ 28 (27)	2.6 ~ 3.9 (3.2)	7.9 ~ 8.1 (-)
16(日)	13 ~ 37 (22)	15.4 ~ 16.7 (16.1)	27 ~ 28 (28)	2.2 ~ 3.2 (2.6)	8.0 ~ 8.2 (-)

測定日 (曜日)	濁度 (度(カオリン)) MIN.~MAX.	水温 (℃) MIN.~MAX.	COD (mg/L) MIN.~MAX.	DO (mg/L) MIN.~MAX.	pH (-) MIN.~MAX.
17(月)	※ ~ ※ (※)	※ ~ ※ (※)	※ ~ ※ (※)	※ ~ ※ (※)	※ ~ ※ (-)
18(火)	※ ~ ※ (※)	※ ~ ※ (※)	※ ~ ※ (※)	※ ~ ※ (※)	※ ~ ※ (-)
19(水)	14 ~ 47 (20)	13.2 ~ 15.8 (15.1)	21 ~ 27 (26)	5.4 ~ 6.8 (6.2)	7.6 ~ 8.1 (-)
20(木)	14 ~ 16 (15)	13.7 ~ 14.5 (14.1)	24 ~ 36 (31)	6.6 ~ 7.3 (7.0)	7.5 ~ 7.6 (-)
21(金)	15 ~ 17 (15)	13.8 ~ 15.3 (14.2)	31 ~ 37 (36)	5.6 ~ 7.2 (6.3)	7.4 ~ 7.7 (-)
22(土)	15 ~ 16 (15)	14.0 ~ 15.0 (14.4)	37 ~ 40 (39)	5.1 ~ 5.8 (5.4)	7.7 ~ 7.8 (-)
23(日)	16 ~ 17 (16)	13.8 ~ 14.8 (14.3)	39 ~ 40 (40)	5.0 ~ 5.6 (5.3)	7.8 ~ 7.9 (-)
24(月)	17 ~ 19 (17)	13.7 ~ 14.8 (14.3)	39 ~ 40 (40)	5.0 ~ 5.5 (5.3)	7.7 ~ 7.8 (-)
25(火)	18 ~ 20 (19)	14.0 ~ 17.7 (14.3)	39 ~ 42 (40)	4.9 ~ 5.4 (5.2)	7.7 ~ 7.8 (-)
26(水)	19 ~ 23 (21)	13.9 ~ 14.6 (14.2)	37 ~ 41 (40)	4.8 ~ 5.5 (5.1)	7.7 ~ 7.8 (-)
27(木)	20 ~ 23 (22)	13.6 ~ 14.4 (14.0)	37 ~ 40 (39)	4.9 ~ 5.5 (5.2)	7.6 ~ 7.8 (-)
28(金)	23 ~ 28 (24)	13.0 ~ 14.4 (14.0)	37 ~ 39 (37)	5.2 ~ 5.6 (5.4)	7.6 ~ 7.7 (-)
29(土)	25 ~ 38 (32)	13.4 ~ 14.4 (13.9)	38 ~ 39 (38)	5.3 ~ 5.9 (5.6)	7.6 ~ 7.7 (-)
30(日)	37 ~ 39 (38)	13.1 ~ 14.1 (13.6)	38 ~ 39 (38)	5.8 ~ 6.1 (6.0)	7.6 ~ 7.6 (-)
〇	~ ()	~ ()	~ ()	~ ()	~ (-)
11 月 集計結果	8 ~ 47 (16)	13.0 ~ 19.2 (15.2)	21 ~ 42 (30)	<0.5 ~ 7.3 (4.4)	7.0 ~ 8.2 (-)

注:1. ()内は平均値を示す。

2. ※項目は濁度上昇により放流停止。

表 1 - 3 放流水、内水の測定結果 [週調査] (令和 7 年 11 月)

調査日	調査地点(St.)	透明度 (m)	水温 (℃)	SS (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	pH (-)	T-N (mg/L)	
11月4日 (火)	8	1.3	15.8	5	42	1.1	7.7	30	
	11	-	15.7	6	-	-	-	28	
11月11日 (火)	8	1.3	15.9	4	37	<0.5	7.8	35	
	11	-	17.0	3	42	-	7.9	32	
11月18日 (火)	8	1.2	15.3	4	40	<0.5	7.9	33	
	11	-	16.6	5	-	-	-	34	
11月25日 (火)	8	1.1	14.5	7	43	<0.5	7.8	35	
	11	-	14.4	6	-	-	-	34	
	8	-	-	-	-	-	-	-	
	11	-	-	-	-	-	-	-	
集 計 結 果	調査地点(St.)		透明度 (m)	水温 (℃)	SS (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	pH (-)	T-N (mg/L)
	8 [管理型内水]	最大値	1.3	15.9	7	43	1.1	7.9	35
		最小値	1.1	14.5	4	37	<0.5	7.7	30
		平均値	1.2	15.4	5	41	0.7	-	33
	11 [放流水]	最大値	-	17.0	6	42	-	7.9	34
		最小値	-	14.4	3	-	-	-	28
平均値		-	15.9	5	-	-	-	32	

注: 11月18日の放流水については、濁度上昇により放流停止(測定値は処理水)

表 1 - 4 (1) 基本監視点、内水、放流水及び補助監視点の測定結果
 [月調査・年 4 回調査] (一般項目及び生活環境項目) (令和 7 年 11 月)

調査年月日：令和7年11月11日

項目	監視区分 地点番号	基本監視点									内水	放流水	補助監視点		
		1	3	4	5	6	7	最小値	～	最大値	平均値	8	11	12	13
調査時刻	-	10:08	9:40	9:27	9:12	8:58	8:37	-	～	-	-	12:50	12:43	8:03	8:23
濁度 (度(カリン))	表層	1	1	1	1	1	1	1	～	1	1	-	-	1	1
	底層	1	1	1	1	1	1	1	～	1	1			1	1
透明度 (m)	-	4.0	4.2	5.2	5.0	5.0	4.7	4.0	～	5.2	4.7	1.3	-	4.5	5.0
水温 (℃)	表層	20.4	20.4	20.2	20.1	19.6	19.9	19.6	～	20.4	20.1	15.9	17.0	19.5	20.0
	底層	20.1	20.2	20.2	20.1	20.1	20.4	20.1	～	20.4	20.2			20.1	20.3
SS (mg/L)	表層	1	1	1	1	1	1	1	～	1	1	4	3	1	1
	底層	1	1	1	2	2	2	1	～	2	2			1	2
クロロフィルa (μg/L)	表層	3	2	3	3	2	2	2	～	3	3	17	-	1	2
	底層	-	-	-	-	-	-	-	～	-	-			-	-
FSS (mg/L)	表層	1	1	<1	<1	<1	<1	<1	～	1	1	3	-	<1	<1
	底層	1	1	1	<1	1	2	<1	～	2	1			1	1
塩分 (%)	表層	32.2	32.1	32.2	32.1	31.8	31.9	31.8	～	32.2	32.1	13.3	-	31.6	31.9
	底層	32.3	32.3	32.3	32.3	32.2	32.3	32.2	～	32.3	32.3			32.3	32.3
COD (mg/L)	表層	1.9	2.1	1.9	1.7	1.9	2.3	1.7	～	2.3	2.0	37	42	2.0	1.7
	底層	1.6	1.9	1.7	1.7	1.9	2.1	1.6	～	2.1	1.8			2.0	1.9
DO (mg/L)	表層	7.1	7.0	7.0	7.4	7.5	7.3	7.0	～	7.5	7.2	<0.5	-	7.0	7.3
	底層	6.8	6.9	6.8	7.1	7.3	7.1	6.8	～	7.3	7.0			6.9	6.7
pH (-)	表層	8.0	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1	8.0	～	8.1	-	7.8	7.9	8.1	8.1
	底層	8.0	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1	8.0	～	8.1	-			8.1	8.1
全窒素 (mg/L)	表層	0.32	0.31	0.51	0.31	0.37	0.39	0.31	～	0.51	0.37	35	32	0.39	0.45
	底層	0.34	0.31	0.34	0.30	0.36	0.32	0.30	～	0.36	0.33			0.36	0.35
全磷 (mg/L)	表層	0.052	0.046	0.041	0.042	0.040	0.043	0.040	～	0.052	0.044	0.042	0.047	0.043	0.045
	底層	0.046	0.046	0.047	0.044	0.056	0.042	0.042	～	0.056	0.047			0.046	0.050
大腸菌数 (CFU/100mL)	表層	8	26	13	16	14	33	8	～	33	18	<1	<1	27	12
	底層	-	-	-	-	-	-	-	～	-	-			-	-
ノルマキサン抽出物質 (mg/L)	表層	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	～	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5
	底層	-	-	-	-	-	-	-	～	-	-			-	-

注：採水層は、表層は海面下 1 m、底層は海底上 2 m である。

表 1 - 4 (2) 基本監視点、内水、放流水及び補助監視点の測定結果
 [年 4 回調査] (特殊項目) (令和 7 年 11 月)

調査年月日：令和7年11月11日

項目	監視区分 地点番号	基 本 監 視 点								内 水	放 流 水	補 助 監 視 点	
		1	3	4	5	6	7	最小値 ~ 最大値	平均値			8	11
調査時刻	-	10:08	9:40	9:27	9:12	8:58	8:37	- ~ -	-	12:50	12:43	8:03	8:23
フェノール類 (mg/L)	表層	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005 ~ <0.005	<0.005	<0.01	<0.01	<0.005	<0.005
	底層	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005 ~ <0.005	<0.005			<0.005	<0.005
銅 (mg/L)	表層	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001 ~ <0.001	<0.001	0.030	0.032	<0.001	<0.001
	底層	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001 ~ <0.001	<0.001			<0.001	<0.001
亜鉛 (mg/L)	表層	0.002	0.003	0.002	0.003	0.004	0.003	0.002 ~ 0.004	0.003	0.024	0.036	0.012	0.004
	底層	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.003	0.002 ~ 0.003	0.002			0.004	0.003
総クロム (mg/L)	表層	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01 ~ <0.01	<0.01	<0.03	<0.03	<0.01	<0.01
	底層	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01 ~ <0.01	<0.01			<0.01	<0.01
溶解性鉄 (mg/L)	表層	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02 ~ 0.02	0.02	<0.08	<0.08	0.02	0.02
	底層	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02 ~ 0.02	0.02			0.02	0.02
溶解性マンガン (mg/L)	表層	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01 ~ <0.01	<0.01	0.10	0.13	<0.01	<0.01
	底層	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01 ~ <0.01	<0.01			<0.01	<0.01
硝酸性窒素 (mg/L)	表層	0.08	0.10	0.08	0.10	0.12	0.14	0.08 ~ 0.14	0.10	0.09	<0.04	0.14	0.17
	底層	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08 ~ 0.08	0.08			0.08	0.07
亜硝酸性窒素 (mg/L)	表層	0.033	0.031	0.030	0.029	0.028	0.029	0.028 ~ 0.033	0.030	<0.04	<0.04	0.026	0.025
	底層	0.032	0.031	0.031	0.031	0.030	0.026	0.026 ~ 0.032	0.030			0.029	0.025

注：採水層は、表層は海面下 1 m、底層は海底上 2 m である。

表 1 - 4 (3) 内水、放流水及び補助監視点の測定結果

[年 4 回調査] (健康項目) (令和 7 年 11 月)

調査年月日:令和7年11月11日

	監視区分	内水[管理型区画]	放流水
	地点番号	8	11
項目	調査時刻	12:50	12:43
カドミウム	mg/L	<0.005	<0.005
全シアン	mg/L	<0.1	<0.1
有機リン	mg/L	<0.1	<0.1
鉛	mg/L	<0.005	<0.005
六価クロム	mg/L	<0.02	<0.02
砒素	mg/L	0.005	0.006
総水銀	mg/L	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀	mg/L	—	—
PCB	mg/L	<0.0005	<0.0005
ジクロロメタン	mg/L	<0.002	<0.002
四塩化炭素	mg/L	<0.0002	<0.0002
1,2-ジクロロエタン	mg/L	<0.0004	<0.0004
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	<0.002	<0.002
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.004	<0.004
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0005	<0.0005
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	<0.0006	<0.0006
トリクロロエチレン	mg/L	<0.002	<0.002
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0005	<0.0005
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	<0.0002	<0.0002
チウラム	mg/L	<0.006	<0.006
シマジン	mg/L	<0.003	<0.003
チオベンカルブ	mg/L	<0.02	<0.02
ベンゼン	mg/L	<0.001	<0.001
セレン	mg/L	<0.005	<0.005
1,4-ジオキサン	mg/L	<0.005	<0.005
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	0.09	<0.08
ほう素	mg/L	1.3	1.5
ふっ素	mg/L	1.5	1.5
アンモニア等	mg/L	10	11

表 1 - 4 (4) 内水、放流水及び補助監視点の測定結果
 [年 4 回調査] (ダイオキシン類) (令和 7 年 11 月)

調査年月日：令和7年11月11日

項 目	監視区分	管理型区画内水	放流水	補助監視点	
	地点番号	8	11	12	13
ダイオキシン類	(pg-TEQ/L)	0.025	0.0083	0.068	0.076
(管理基準値)	(pg-TEQ/L)	-	10	-	-
S S	(mg/L)	4	3	3	2
(管理基準値)	(mg/L)	-	50	-	-

注：毒性等価係数はWHO-TEF(2006)を適用した。

ダイオキシン類の毒性当量結果について

管理型区画内水,放流水：定量下限未満の測定値は実測濃度を0（ゼロ）として算出

補助監視点：検出下限以上の測定値はそのまま用い、検出下限未満の測定結果は検出下限の
 1/2を用いて算出

表 1 - 5 (1) 植物プランクトン調査結果 (表層) (令和 7 年 11 月)

調査期日 : 令和 7 年 11 月 11 日

項目 \ 調査点	1	3	4	5	6	7	平均 ^{注1}
種類数	14	17	20	22	28	23	40
細胞数 (細胞/mL)	27	50	53	58	64	50	50
沈殿量 (mL/L)	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
主 要 種 ^{注2} 細胞数 (%)	クリプト藻綱 8 (29.6)	クリプト藻綱 15 (30.0)	クリプト藻綱 18 (34.0)	クリプト藻綱 21 (36.2)	クリプト藻綱 18 (28.1)	クリプト藻綱 15 (30.0)	クリプト藻綱 16 (31.5)
	ギムノテニウム属 3 (11.1)	スケルトネマ コスタム 11 (22.0)	ニッチア属 5 (9.4)	タラシオテラ属 7 (12.1)	タラシオテラ属 6 (9.4)	ミドリムシ藻綱 5 (10.0)	タラシオテラ属 4 (7.3)
	コスキノテニス属 3 (11.1)	タラシオテラ属 4 (8.0)	スケルトネマ コスタム 4 (7.5)	タラシオテラ科 3 (5.2)	タラシオテラ科 5 (7.8)	ギムノテニウム属 3 (6.0)	スケルトネマ コスタム 3 (6.3)
	ニッチア属 2 (7.4)	ギムノテニウム属 3 (6.0)	ハプト藻綱 4 (7.5)	ニッチア属 3 (5.2)	ギムノテニウム属 3 (4.7)	モロシラ属 3 (6.0)	ハプト藻綱 3 (5.3)
	ミドリムシ藻綱 2 (7.4)	コスキノテニス属 3 (6.0)	タラシオテラ属 3 (5.7)	ハプト藻綱 3 (5.2)	スケルトネマ コスタム 3 (4.7)	ハプト藻綱 3 (6.0)	ギムノテニウム属 3 (5.0)
		ハプト藻綱 3 (6.0)		ミドリムシ藻綱 3 (5.2)			

注 : 1. 種類数の平均は総種類数を示す。

2. 主要種は各調査点細胞数の組成比で上位 5 種を示す。

表 1 - 5 (2) 植物プランクトン調査結果 (底層) (令和 7 年 11 月)

調査期日 : 令和 7 年 11 月 11 日

項目 \ 調査点	1	3	4	5	6	7	平均 ^{注1}
種類数	12	14	17	21	26	20	37
細胞数 (細胞/mL)	37	42	37	65	110	58	58
沈殿量 (mL/L)	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	0.1	<0.05	<0.05
主 要 種 ^{注2} 細胞数 (%)	クリプト藻綱 21 (56.8)	クリプト藻綱 15 (35.7)	クリプト藻綱 15 (40.5)	クリプト藻綱 33 (50.8)	クリプト藻綱 48 (43.6)	クリプト藻綱 21 (36.2)	クリプト藻綱 26 (43.8)
	ギムノテニウム属 3 (8.1)	ギムノテニウム属 4 (9.5)	タラシオテラ属 3 (8.1)	ミドリムシ藻綱 6 (9.2)	ミドリムシ藻綱 18 (16.4)	ミドリムシ藻綱 7 (12.1)	ミドリムシ藻綱 7 (11.5)
	コスキノテニス属 2 (5.4)	ミドリムシ藻綱 4 (9.5)	ミドリムシ藻綱 3 (8.1)	コスキノテニス属 5 (7.7)	ギムノテニウム属 9 (8.2)	ハプト藻綱 6 (10.3)	ギムノテニウム属 4 (6.3)
	ハプト藻綱 2 (5.4)	タラシオテラ科 3 (7.1)	ギムノテニウム属 2 (5.4)	タラシオテラ科 3 (4.6)	コスキノテニス属 6 (5.5)	タラシオテラ属 4 (6.9)	コスキノテニス属 3 (4.9)
	ミドリムシ藻綱 2 (5.4)	ニッチア属 3 (7.1)	ハプト藻綱 2 (5.4)	ニッチア属 2 (3.1)	タラシオテラ属 3 (2.7)	ギムノテニウム属 3 (5.2)	ハプト藻綱 3 (4.3)

注 : 1. 種類数の平均は総種類数を示す。

2. 主要種は各調査点細胞数の組成比で上位 5 種を示す。

表 1 - 6 動物プランクトン調査結果 (令和 7 年 11 月)

調査期日：令和7年11月11日

項目 \ 調査点	1	3	4	5	6	7	平均 ^{注1}
種類数	30	29	25	31	35	36	47
個体数 (個体/m ³)	68,360	59,001	58,247	79,737	70,153	67,761	67,210
沈殿量 (mL/m ³)	10.8	7.4	8.9	12.7	10.5	10.4	10.1
主 要 種 ^{注2} 個体数 (%)	オイトケ属の コペポデイト 期幼生 22,642 (33.1)	オイトケ属の コペポデイト 期幼生 18,902 (32.0)	オイトケ属の コペポデイト 期幼生 23,125 (39.7)	オイトケ属の コペポデイト 期幼生 23,750 (29.8)	オイトケ属の コペポデイト 期幼生 21,545 (30.7)	オイトケ属の コペポデイト 期幼生 24,766 (36.5)	オイトケ属の コペポデイト 期幼生 22,455 (33.4)
	オイトケ ブレヒコルニス 14,858 (21.7)	オイトケ ブレヒコルニス 17,480 (29.6)	オイトケ ブレヒコルニス 17,292 (29.7)	オイトケ ブレヒコルニス 20,208 (25.3)	オイトケ ブレヒコルニス 20,122 (28.7)	オイトケ ブレヒコルニス 13,551 (20.0)	オイトケ ブレヒコルニス 17,252 (25.7)
	パラカス属の コペポデイト 期幼生 10,142 (14.8)	パラカス属の コペポデイト 期幼生 6,504 (11.0)	二枚貝類の カンボ期幼生 4,792 (8.2)	パラカス属の コペポデイト 期幼生 12,083 (15.2)	パラカス属の コペポデイト 期幼生 5,488 (7.8)	パラカス属の コペポデイト 期幼生 8,411 (12.4)	パラカス属の コペポデイト 期幼生 7,278 (10.8)
	パラカス クラシストリス 4,953 (7.2)	二枚貝類の カンボ期幼生 3,862 (6.5)	パラカス クラシストリス 3,542 (6.1)	パラカス クラシストリス 4,583 (5.7)	パラカス クラシストリス 3,659 (5.2)	二枚貝類の カンボ期幼生 6,542 (9.7)	二枚貝類の カンボ期幼生 4,024 (6.0)
	二枚貝類の カンボ期幼生 4,245 (6.2)	パラカス クラシストリス 3,659 (6.2)	カイアシ類の ノーブルリウス 期幼生 1,667 (2.9)	マイクロテラ ルベシカ 2,917 (3.7)	二枚貝類の カンボ期幼生 3,659 (5.2)	パラカス クラシストリス 2,570 (3.8)	パラカス クラシストリス 3,828 (5.7)

注：1. 種類数の平均は総種類数を示す。
2. 主要種は各調査点での上位 5 種を示す。

表 1 - 7 魚 卵 調 査 結 果 (令 和 7 年 11 月)

調査年月日：令和7年11月12日

項目 \ 調査点	1	3	4	5	6	7	平均 ^{注1}
種類数	1	2	1	3	2	1	3
個体数(個体/1000m ³)	84	195	417	934	402	251	381
主 要 種 ^{注2} 個体数 (%)	カタクチイワシ 84 (100.0)	カタクチイワシ 193 (99.0) ネズッコ科 2 (1.0)	カタクチイワシ 417 (100.0)	カタクチイワシ 930 (99.6) マイワシ 2 (0.2) ネズッコ科 2 (0.2)	カタクチイワシ 400 (99.5) ネズッコ科 2 (0.5)	カタクチイワシ 251 (100.0)	カタクチイワシ 379 (99.6) ネズッコ科 1 (0.3) マイワシ <1 (0.1)

注：1. 種類数の平均は総種類数を示す。
2. 主要種は各調査点での上位5種を示す。

表 1 - 8 稚 仔 魚 調 査 結 果 (令 和 7 年 11 月)

調査年月日：令和7年11月12日

項目 \ 調査点	1	3	4	5	6	7	平均 ^{注1}
種類数	3	4	3	3	3	4	6
個体数(個体/1000m ³)	32	59	64	159	96	145	93
主 要 種 ^{注2} 個体数 (%)	カタクチイワシ 24 (75.0) キチヌ 5 (15.6) ネズッコ科 3 (9.4)	カタクチイワシ 37 (62.7) ネズッコ科 12 (20.3) カサゴ 5 (8.5) イソギンポ 5 (8.5)	カタクチイワシ 60 (93.8) キチヌ 2 (3.1) イソギンポ 2 (3.1)	カタクチイワシ 147 (92.5) ネズッコ科 7 (4.4) イソギンポ 5 (3.1)	カタクチイワシ 89 (92.7) ネズッコ科 5 (5.2) カサゴ 2 (2.1)	カタクチイワシ 132 (91.0) ネズッコ科 9 (6.2) カサゴ 2 (1.4) ハゼ科 2 (1.4)	カタクチイワシ 82 (88.1) ネズッコ科 6 (6.5) イソギンポ 2 (2.2) カサゴ 2 (1.6) キチヌ 1 (1.3)

注：1. 種類数の平均は総種類数を示す。
2. 主要種は各調査点での上位5種を示す。

表 1 - 9 底生生物調査結果 (令和 7 年 11 月)

調査期日：令和7年11月12日

項目 \ 調査点	1	3	4	5	6	7	平均 ^{注1}							
種類数	軟体動物門	1	3	3	3	3	2	6						
	環形動物門	5	7	6	2	3	2	8						
	節足動物門					1		1						
	その他			2	1		1	2						
	合計	6	10	11	6	7	5	17						
個体数	軟体動物門	6	59	38	8	4	5	20						
	環形動物門	329	351	291	348	239	226	297						
	節足動物門					1		<1						
	その他			4	1		1	1						
	合計	335	410	333	357	244	232	319						
個体構成比 (%)	軟体動物門	1.8	14.4	11.4	2.2	1.6	2.2	6.3						
	環形動物門	98.2	85.6	87.4	97.5	98.0	97.4	93.4						
	節足動物門					0.4		0.1						
	その他			1.2	0.3		0.4	0.3						
	合計													
湿重量 (g)	軟体動物門	0.05	0.72	0.35	0.09	0.03	0.20	0.24						
	環形動物門	3.28	6.36	5.36	6.69	4.63	3.63	4.99						
	節足動物門					0.18		0.03						
	その他			0.06	0.03		0.01	0.02						
	合計	3.33	7.08	5.77	6.81	4.84	3.84	5.28						
主要種 ^{注2} 個体数 (%)	ハラブリオスピオ属 (A型)	301 (89.9)	ハラブリオスピオ属 (A型)	316 (77.1)	ハラブリオスピオ属 (A型)	277 (83.2)	ハラブリオスピオ属 (A型)	347 (97.2)	ハラブリオスピオ属 (A型)	236 (96.7)	ハラブリオスピオ属 (A型)	225 (97.0)	ハラブリオスピオ属 (A型)	284 (89.1)
	シガンブラ属	12 (3.6)	ヒカノアサリ	57 (13.9)	ヒカノアサリ	35 (10.5)	ヒカノアサリ	6 (1.7)	ヒカノアサリ	2 (0.8)	チゴトリガイ	4 (1.7)	ヒカノアサリ	18 (5.5)
	カマカ ^{リキ} ホ ^{シイ} ム	11 (3.3)	シガンブラ属	20 (4.9)	カマカ ^{リキ} ホ ^{シイ} ム	6 (1.8)	マウラシマガイ	1 (0.3)	イトエラスピオ	2 (0.8)	マルスタ ^レ ガイ目	1 (0.4)	シガンブラ属	6 (1.9)
	ヒカノアサリ	6 (1.8)	カマカ ^{リキ} ホ ^{シイ} ム	10 (2.4)	シガンブラ属	4 (1.2)	マルスタ ^レ ガイ目	1 (0.3)	マウラシマガイ	1 (0.4)	マウラシマガイ	1 (0.4)	ウロコムシ科	5 (1.4)
	オウギゴカイ	4 (1.2)	オウギゴカイ	2 (0.5)	紐形動物門	3 (0.9)	シガンブラ属	1 (0.3)	チゴトリガイ	1 (0.4)	チゴトリガイ	1 (0.4)	カシノハクモヒトデ	1 (0.4)
							カシノハクモヒトデ	1 (0.3)	オウギゴカイ	1 (0.4)	オウギゴカイ	1 (0.4)	ヨシエビ	1 (0.4)

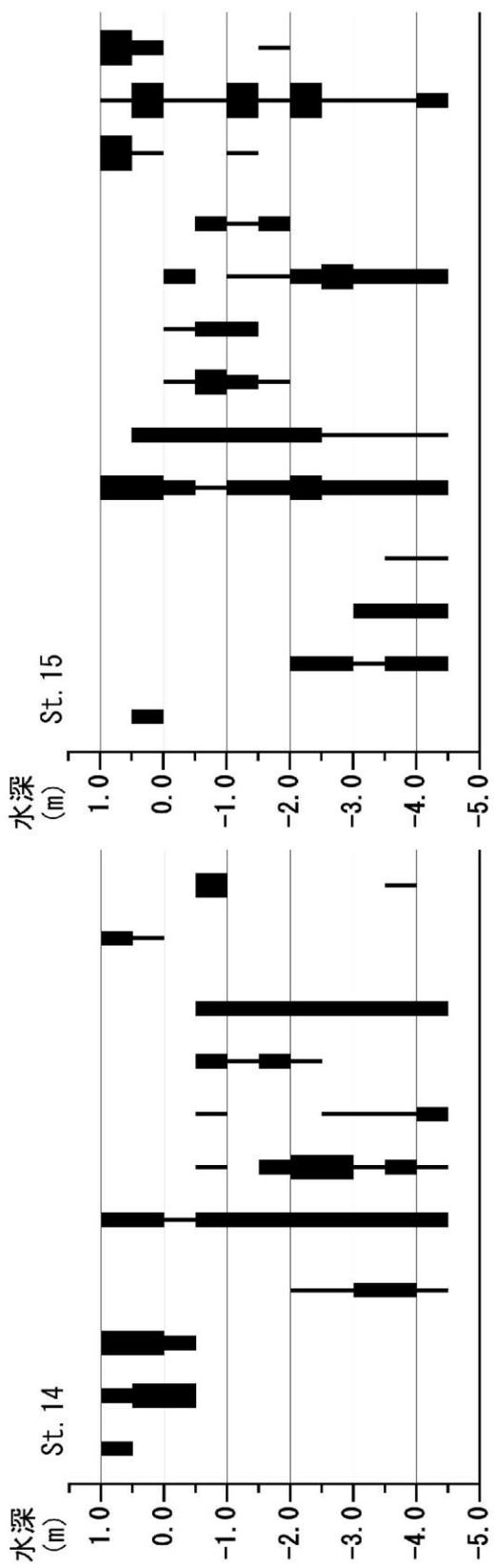
注：1. 種類数の平均は総種類数を示す。
 2. 主要種は各調査地点個体数の構成比で上位5種を示す。
 3. 個体数構成比は小数点2位を四捨五入しているため、合計が100.0にならない場合がある。
 単位：1. 個体数の単位は個体/0.1㎡、湿重量の単位はg/0.1㎡。
 2. 湿重量の+は0.01g未満を示す。

表 1 - 10 (1) 付着生物観察結果(ベルトトランセクト法) (令和 7 年11月)

門			種名 \ 調査月日 調査点	11月12日	
				14	15
植 物	被度観察	緑藻植物門	アサ属	2	r
			シクサ属	8	r
		紅藻植物門	ウスカカニテ		1
			ヒリヒバ	r	r
			マカサ	r	6
			ムカデノリ科	r	2
			カハノリ		r
		イキス科	7	9	
		藍藻植物門	藍藻綱	8	2
	珪藻植物門	珪藻綱		r	
植物種類数			7	10	
動 物	被度観察	刺胞動物門	リザンギア科	r	r
		触手動物門	フォニス属	13	3
		苔虫動物門	フサコケシ科	r	5
			コケシ綱	6	16
		軟体動物門	オオヒガイ	6	2
			ミドリガイ		r
			イボガキ科	r	r
			キクザルガイ科	3	r
		環形動物門	カンザシコカイ科	21	24
		節足動物門	イフシツボ		3
			サンカクシツボ	r	1
			アメリカシツボ	r	7
			ヨーロッパシツボ	r	5
			ヨコヒ類の泥巢	16	15
	原索動物門	シロボヤ	r	1	
		群性性芽類	r	3	
		単体性芽類		r	
	個体数観察	刺胞動物門	クダシマイキンチャク	2	173
			イソキンチャク目	15	212
		軟体動物門	ウナシ	3	
			シメノウフネガイ		1
			イボニシ	10	35
			裸鰓目	2	1
			キノハナガイ	3	
			カラムツガイ	2	
			ナミカシロ		1
		節足動物門	ヤトカリ科	1	
棘皮動物門		イトマキヒトデ		1	
		マナコ		4	
動物種類数			22	25	

注：数値は、各調査点で水深+1m～海底までに連続した50×50cmの方形枠（11枠）を設置し、各枠ごとに観察した被度階級（被覆率を階級で表したもの）または個体数の合計を示す。

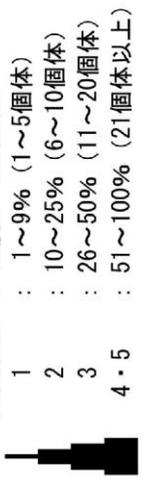
被度階級
被度：被覆率 (%)
5：76～100
4：51～75
3：26～50
2：10～25
1：1～9
r：極僅か



植物 (被度観察)	イボニシ イソギンチャク目 タテシマイソギンチャク	動物 (被度観察)	イボニシ イソギンチャク目 タテシマイソギンチャク
植物 (被度観察)	藍藻綱 イギス科 ムカデノリ科 マクサ	動物 (被度観察)	イボニシ イソギンチャク目 タテシマイソギンチャク
植物 (被度観察)	アオサ属 シオグサ属 藍藻綱 イギス科 カンザシゴカイ科 フオロニス属 コケムシ綱 オオヘビガイ ヨコエビ類の泥巢	動物 (被度観察)	イボニシ イソギンチャク目 タテシマイソギンチャク
植物 (被度観察)	イボニシ イソギンチャク目	動物 (被度観察)	イボニシ イソギンチャク目 タテシマイソギンチャク

調査期日：令和7年11月12日

(凡例) 被度階級：被覆率 (個体数)



注：各種ごとの被度階級の合計が、植物は2以上、動物は5以上、または個体数の合計が10以上の種類およびその他の特徴的な出現を示す種類について作成した。

図 1 - 2 主な付着生物の鉛直分布 (令和7年11月)

表 1 - 10 (2) 付着生物観察結果(坪刈り：植物) (令和 7 年11月)

調査期日：令和7年11月12日

項目	調査点 層	14				15				平均 ^{注1}
		上層	中層	下層	合計	上層	中層	下層	合計	
種類数	緑藻植物門	3	2	2	3		1	2	2	4
	褐藻植物門		2		2					2
	紅藻植物門		1	2	2		1	2	3	4
	その他					1	1		1	1
	合計	3	5	4	7	1	3	4	6	11
湿重量 (g)	緑藻植物門	0.1	+	+	0.1		+	+	+	+
	褐藻植物門		+		+					+
	紅藻植物門		+	+	+		+	+	+	+
	その他					+	+		+	+
	合計	0.1	+	+	0.1	+	+	+	+	+
湿構成 量比 (%)	緑藻植物門	100.0			100.0					100.0
	褐藻植物門				<0.1					<0.1
	紅藻植物門				<0.1					<0.1
	その他					100.0				<0.1
主要種 ^{注2} 湿重量g (%)	シオグサ属	0.1 (100.0)			シオグサ属	0.1 (100.0)				

※各採集層：上層平均水面、中層大潮最低低潮面、下層大潮最低低潮面 1 m

注：1. 種類数の平均は総種類数を示す。

2. 主要種は各調査点の各層で上位5種を示す。但し、湿重量0.1g未満の種類は除く。

3. 湿重量構成比は小数点2位を四捨五入しているため、合計が100.0にならない場合がある。

単位：1. 湿重量は0.09㎡当たりで示す。湿重量欄の + は0.1g未満を示す。

2. 各調査点の合計欄は0.27㎡当たりで示す。

表 1-10 (3) 付着生物観察結果(坪刈り：動物) (令和7年11月)

調査期日：令和7年11月12日

項目	調査点 層	14				15				平均 ^{注1}
		上層	中層	下層	合計	上層	中層	下層	合計	
種類数	軟体動物門	12	3	2	13	14	5	3	16	21
	環形動物門	10	7	14	18	7	10	15	19	20
	節足動物門	3	6	10	14	5	9	12	18	22
	その他		3	9	9	4	3	7	8	11
	合計	25	19	35	54	30	27	37	61	74
個体数	軟体動物門	190	12	277	479	783	72	55	910	232
	環形動物門	91	33	798	922	273	2,889	456	3,618	757
	節足動物門	38	14	717	769	2,394	521	976	3,891	777
	その他		3	50	53	160	3	74	237	48
	合計	319	62	1,842	2,223	3,610	3,485	1,561	8,656	1,813
個体構成比 (%)	軟体動物門	59.6	19.4	15.0	21.5	21.7	2.1	3.5	10.5	12.8
	環形動物門	28.5	53.2	43.3	41.5	7.6	82.9	29.2	41.8	41.7
	節足動物門	11.9	22.6	38.9	34.6	66.3	14.9	62.5	45.0	42.8
	その他		4.8	2.7	2.4	4.4	0.1	4.7	2.7	2.7
主要種 ^{注2} 個体数 (%)	ウツクシガイ	144 (45.1)	21 (33.9)	496 (26.9)	497 (22.4)	2,304 (63.8)	2,112 (60.6)	576 (36.9)	2,304 (26.6)	396 (21.8)
	シラケウミミ	36 (11.3)	7 (11.3)	276 (15.0)	424 (19.1)	576 (16.0)	448 (12.9)	187 (12.0)	2,121 (24.5)	384 (21.2)
	ナメシロコシガイ	35 (11.0)	6 (9.7)	236 (12.8)	260 (11.7)	95 (2.6)	224 (6.4)	144 (9.2)	800 (9.2)	182 (10.0)
	カラマツガイ	23 (7.2)	5 (8.1)	216 (11.7)	253 (11.4)	79 (2.2)	163 (4.7)	96 (6.1)	666 (7.7)	158 (8.7)
	カタリコガイ	17 (5.3)	4 (6.5)	144 (7.8)	147 (6.6)	77 (2.1)	152 (4.4)	74 (4.7)	476 (5.5)	132 (7.3)
	イソコエビ									
	イワフジツボ									
	ナメシロコシガイ									
	エダシロコシ									
	カタリコガイ									

※各採集層：上層--平均水面、中層--大潮最低低潮面、下層--大潮最低低潮面-1m

- 注：1. 種類数の平均は総種類数を示す。
 2. 主要種は各調査点の各層で上位5種を示す。
 3. 個体数構成比は小数点2位を四捨五入しているため、合計が100.0にならない場合がある。
 単位：1. 個体数は0.09㎡当たりで示す。
 2. 各調査点の合計欄は0.27㎡当たりで示す。

表 1-10 (4) 付着生物観察結果(坪刈り：動物(湿重量)) (令和7年11月)

調査期日：令和7年11月12日

項目	調査点 層	14				15				平均 ^{注1}
		上層	中層	下層	合計	上層	中層	下層	合計	
湿重量 (g)	軟体動物門	12.5	0.2	18.7	31.4	16.2	9.3	0.2	25.7	9.5
	環形動物門	0.3	+	6.4	6.7	1.3	31.2	2.7	35.2	7.0
	節足動物門	0.1	2.7	2.7	5.5	18.0	6.3	8.6	32.9	6.4
	その他		0.1	2.5	2.6	1.4	0.2	2.6	4.2	1.1
	合計	12.9	3.0	30.3	46.2	36.9	47.0	14.1	98.0	24.0
湿構成比 (%)	軟体動物門	96.9	6.7	61.7	68.0	43.9	19.8	1.4	26.2	39.6
	環形動物門	2.3	<0.1	21.1	14.5	3.5	66.4	19.1	35.9	29.1
	節足動物門	0.8	90.0	8.9	11.9	48.8	13.4	61.0	33.6	26.6
	その他		3.3	8.3	5.6	3.8	0.4	18.4	4.3	4.7
主要種 ^{注2} 湿重量g (%)	ネノハガイ	5.0 (38.8)	2.7 (90.0)	15.0 (49.5)	16.1 (34.8)	17.6 (47.7)	25.3 (53.8)	5.1 (36.2)	25.4 (25.9)	4.7 (19.4)
	イボニシ	2.9 (22.5)	0.1 (3.3)	3.7 (12.2)	5.0 (10.8)	8.8 (23.8)	8.2 (17.4)	2.3 (16.3)	17.6 (18.0)	3.6 (14.8)
	カラマツガイ	1.7 (13.2)	0.1 (3.3)	2.5 (8.3)	3.7 (8.0)	4.5 (12.2)	5.4 (11.5)	0.9 (6.4)	17.0 (17.3)	3.3 (13.8)
	ウノアシ	1.2 (9.3)	0.1 (3.3)	1.9 (6.3)	2.9 (6.3)	1.1 (3.0)	3.3 (7.0)	0.8 (5.7)	5.8 (5.9)	2.9 (12.2)
	ウツクシガイ	1.1 (8.5)		1.3 (4.3)	2.7 (5.8)	1.0 (2.7)	1.4 (3.0)	0.8 (5.7)	5.2 (5.3)	1.3 (5.4)
	イソコエビ									
	イワフジツボ									
	ナメシロコシガイ									
	エダシロコシ									
	カタリコガイ									

※各採集層：上層--平均水面、中層--大潮最低低潮面、下層--大潮最低低潮面-1m

- 注：1. 湿重量欄の平均は平均湿重量を示す。
 2. 主要種は各調査点の各層で上位5種を示す。但し、湿重量0.1g未満の種類は除く。
 3. 湿重量構成比は小数点2位を四捨五入しているため、合計が100.0にならない場合がある。
 単位：1. 湿重量は0.09㎡当たりで示す。湿重量欄の+は0.1g未満を示す。
 2. 各調査点の合計欄は0.27㎡当たりで示す。

表 1 - 11 (1) 漁業生物調査結果(刺網) (令和 7 年11月)

調査年月日：令和7年11月11～12日

項目 \ 調査点	16	17	平均	
種類数	魚類	5	4	6
	甲殻類	2	1	2
	頭足類			
	その他			
	合計	7	5	8
個体数	魚類	17	82	50
	甲殻類	2	14	8
	頭足類			
	その他			
	合計	19	96	58
湿重量 (g)	魚類	5,863.3	3,828.1	4,845.7
	甲殻類	317.7	1,278.7	798.2
	頭足類			
	その他			
	合計	6,181.0	5,106.8	5,643.9

注：1. 個体数、湿重量は1網当たりで示す。

2. 種類数の平均欄は総種類数を示す。

表 1 - 11 (2) 漁業生物調査結果(刺網) (令和 7 年11月)

調査年月日：令和7年11月11～12日

項目 \ 調査点	16	17	平均	
主要種	魚類 （組成比%）	カタクチイワシ 8 (42.1)	カタクチイワシ 72 (75.0)	カタクチイワシ 40 (69.6)
		アカエイ 3 (15.8)	アカエイ 8 (8.3)	アカエイ 6 (9.6)
		カサゴ 3 (15.8)	トカゲエソ 1 (1.0)	トカゲエソ 2 (2.6)
		トカゲエソ 2 (10.5)	キジハタ 1 (1.0)	カサゴ 2 (2.6)
		クロダイ 1 (5.3)		キジハタ 1 (0.9)
				クロダイ 1 (0.9)
	甲殻類	タイワンガザミ 1 (5.3)	タイワンガザミ 14 (14.6)	タイワンガザミ 8 (13.0)
		イシガニ 1 (5.3)		イシガニ 1 (0.9)
	魚類 （組成比%）	アカエイ 4,807.5 (77.8)	アカエイ 3,268.6 (64.0)	アカエイ 4,038.1 (71.5)
		トカゲエソ 401.3 (6.5)	カタクチイワシ 442.2 (8.7)	トカゲエソ 240.3 (4.3)
		カサゴ 384.2 (6.2)	トカゲエソ 79.2 (1.6)	カタクチイワシ 233.0 (4.1)
		クロダイ 246.5 (4.0)	キジハタ 38.1 (0.7)	カサゴ 192.1 (3.4)
カタクチイワシ 23.8 (0.4)			クロダイ 123.3 (2.2)	
甲殻類	タイワンガザミ 271.8 (4.4)	タイワンガザミ 1,278.7 (25.0)	タイワンガザミ 775.3 (13.7)	
	イシガニ 45.9 (0.7)		イシガニ 23.0 (0.4)	

注：1. 個体数、湿重量は1網当たりで示す。

2. 主要種は各調査点の各分類群で上位5種のものを示す。

3. 個体数の平均値は小数点以下を四捨五入しているため、合計と一致しない場合がある。

大阪基地

II 大阪基地

1 環境監視結果の概要

1. 1 環境監視の実施状況

環境監視計画に基づく令和7年11月の環境監視の実施状況は次表のとおりである。

なお、調査地点位置については図2-1に示す。

環境項目	測定・調査項目	測定点	測定点数	調査内容	実施日時
交通量	総交通量(2車種分類 ^{注)})	No.1 No.2	3地点	10時間 (毎正時10分間)	11月5日 8時～18時
	廃棄物車数(2車種分類 ^{注)})	No.4		10時間 (連続)	
騒音・振動	騒音、振動	No.2 No.3	2地点	10時間 (毎正時10分間)	11月5日 8時～18時
大気質	二酸化硫黄、 一酸化窒素、 二酸化窒素、 浮遊粒子状物質、 風向・風速	No.2 No.3	2地点	1週間 (連続)	11月5日 0時30分～ 11月12日 0時30分

注：2車種分類とは、総交通量、廃棄物車とも大型車と大型車以外の2種とする。

1. 2 環境監視の結果

交通量、騒音・振動及び大気質の監視結果については、総括を表2-1に、各測定・調査項目ごとの結果を表2-2～表2-9及び図2-2～図2-6に示す。

(1) 交通量 (表2-1、表2-2)

ア) 大阪池田線沿道の測定点 (No.1)

時間交通量は906～1,309台、廃棄物車の時間交通量は0～2台で推移し、測定日の廃棄物車総交通量は7台/10hrで、総交通量(10,369台/10hr)に占める割合は0.1%であった。この地点における総交通量に占める事業の廃棄物車の割合は小さいものと考えられる。

イ) 大阪池田線沿道の測定点 (No.2)

時間交通量は912～1,279台、廃棄物車の時間交通量は0～4台で推移し、測定日の廃棄物車総交通量は14台/10hrで、総交通量(11,174台/10hr)に占める割合は0.1%であった。この地点における総交通量に占める事業の廃棄物車の割合は小さいものと考えられる。

えられる。

ウ) 大阪基地近傍の測定点 (No. 4)

時間交通量は96～193台、廃棄物車の時間交通量は0～61台で推移し、測定日の廃棄物車総交通量は279台/10hrで、総交通量(1,479台/10hr)に占める割合は18.9%であった。

(2) 騒音・振動 (表2-1、表2-2)

① 騒音

ア) 大阪池田線沿道の測定点 (No. 2)

等価騒音レベル(L_{Aeq})は68.0～70.2dB(平均69dB)であり、時間率騒音レベルの中央値(L_{A50})は64～67dB(平均66dB)であった。等価騒音レベルの平均値(8:00～18:00)は環境基準値(70dB)・要請限度(75dB)を下回っていた。

イ) 中島公園近傍の測定点 (No. 3)

等価騒音レベル(L_{Aeq})は55.6～61.3dB(平均58dB)であり、時間率騒音レベルの中央値(L_{A50})は51～58dB(平均53dB)であった。等価騒音レベルの平均値(8:00～18:00)は環境基準値(65dB)・要請限度(75dB)を下回っていた。

② 振動

80%レンジの上端値(L_{10})は、測定点No. 2では42～47dB(平均45dB)であり、測定点No. 3では36～40dB(平均38dB)であった。 (L_{10}) の平均値(8:00～18:00)は、共に要請限度(65dB)を下回っていた。

(3) 大気質 (表2-1、表2-3～表2-9)

ア) 大阪池田線沿道の測定点 (No. 2)

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は北であり、平均風速は1.7m/sであった。

イ) 中島公園近傍の測定点 (No. 3)

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は東北東であり、平均風速は1.9m/sであった。

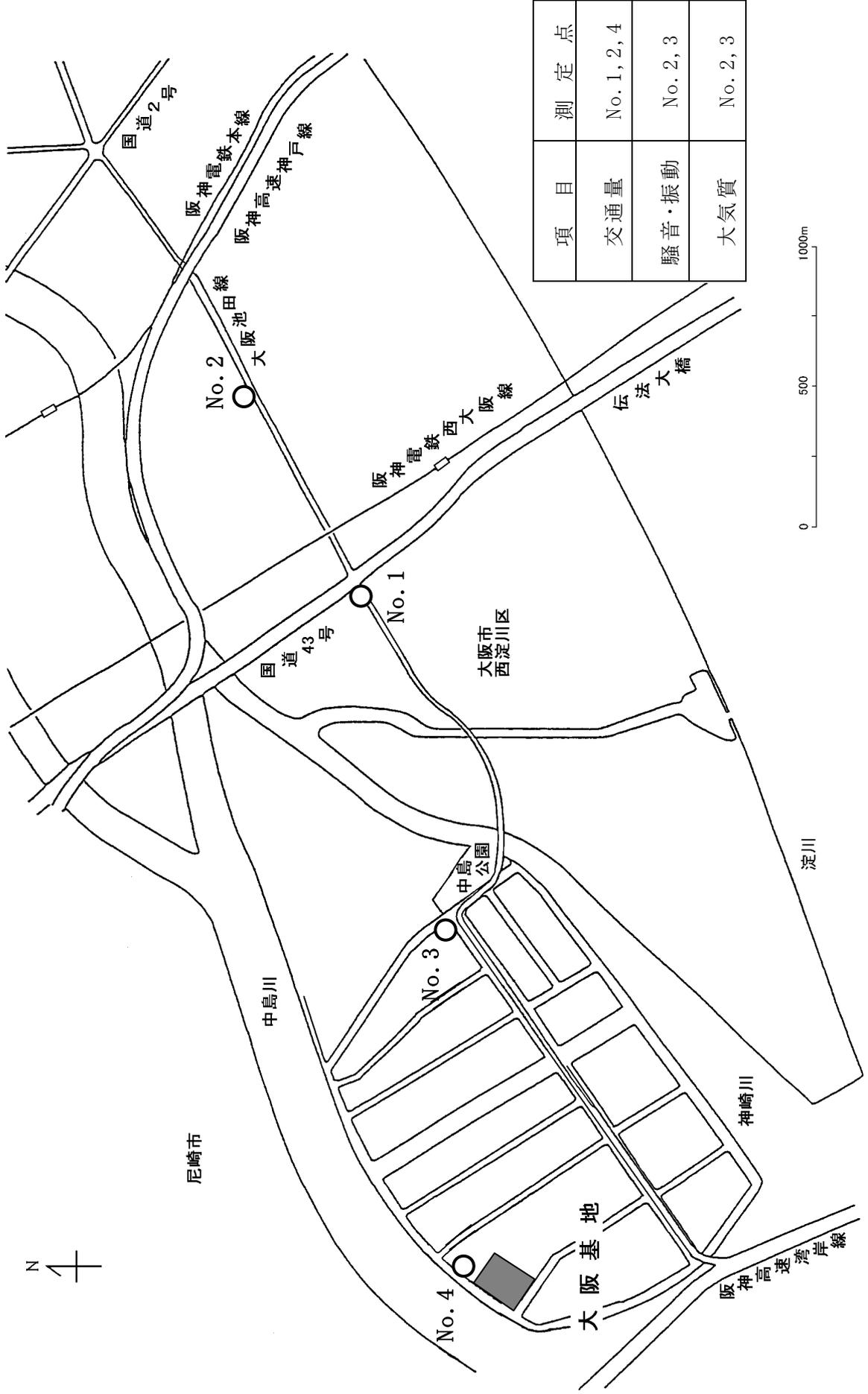


図 2 - 1 環境監視調査地点位置図 (大阪基地)

2 環境監視結果

表 2 - 1 監視結果総括

(大阪基地 令和7年11月調査結果)

測 定 点			No. 1	No. 2	No. 3	No. 4		
交通量 (8:00～ 18:00)	調 査 日		11月5日	11月5日	11月5日	11月5日		
	総交通量	最 大 時 間 交 通 量	(台)	1,309	1,279	—	193	
		最 小 時 間 交 通 量		906	912	—	96	
		総 交 通 量		10,369	11,174	—	1,479	
	廃棄物 車 数	最 大 時 間 交 通 量	(台)	2	4	—	61	
		最 小 時 間 交 通 量		0	0	—	0	
		総 交 通 量		7	14	—	279	
廃 棄 物 車 混 入 率		(%)	0.1	0.1	—	18.9		
騒音・振動 (8:00～ 18:00)	調 査 日		—	11月5日	11月5日	—		
	騒音 (L_{Aeq})	一 時 間 値	(dB)	—	68.0 ～ 70.2	55.6 ～ 61.3	—	
		時 間 平 均 値		—	69	58	—	
	騒音 (L_{A50})	一 時 間 値		—	64 ～ 67	51 ～ 58	—	
		時 間 平 均 値		—	66	53	—	
	振動 (L_{10})	一 時 間 値		—	42 ～ 47	36 ～ 40	—	
時 間 平 均 値		—		45	38	—		
大 気 質	調 査 日		—	11月5日～11日	11月5日～11日	—		
	二酸化 硫 黄	日 平 均 値	(ppm)	—	0.002～0.007	0.002～0.003	—	
		期 間 平 均 値		—	0.005	0.003	—	
		日 平 均 値 が 0.04ppm を 超 え た 日 数		(日)	—	0	0	—
		1 時 間 値 が 0.1ppm を 超 え た 時 間 数		(時間)	—	0	0	—
	二酸化 窒 素	日 平 均 値	(ppm)	—	0.012～0.015	0.009～0.017	—	
		期 間 平 均 値		—	0.014	0.012	—	
		日 平 均 値 が 0.04ppm 以 上、0.06ppm 以 下 の 日 数		(日)	—	0	0	—
		日 平 均 値 が 0.06ppm を 超 え た 日 数		(日)	—	0	0	—
	浮遊粒子 状 物 質	日 平 均 値	(mg/m ³)	—	0.006～0.014	0.009～0.017	—	
		期 間 平 均 値		—	0.010	0.013	—	
		日 平 均 値 が 0.1mg/m ³ を 超 え た 日 数		(日)	—	0	0	—
		1 時 間 値 が 0.2mg/m ³ を 超 え た 時 間 数		(時間)	—	0	0	—
	風 速	日 平 均 値	(m/s)	—	1.2～2.4	1.3～2.7	—	
期 間 平 均 値		—		1.7	1.9	—		
風 向	最 多 風 向	16 方 位	—	N	ENE	—		

表 2 - 2 交通量・騒音・振動調査結果

(大阪基地 令和7年11月結果)

測定点	測定年月日	測定時刻	交通条件								騒音レベル (dB)				振動レベル (dB)			主な騒音源
			総交通量 注3)				廃棄物車数 (台)		廃棄物車混入率 (%)		L _{A5}	L _{A50}	L _{A95}	L _{Aeq}	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	
			大型車 (台)	大型車以外 (台)	合計 (台)	大型車混入率 (%)	全車両	大型車以外	廃棄物車/全車両	注4								
No.1	令和7年11月5日	8:00	492	660	1,152	42.7	0	0	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-
		9:00	728	354	1,082	67.3	2	0	0.2	0.3	-	-	-	-	-	-	-	-
		10:00	733	366	1,099	66.7	1	0	0.1	0.1	-	-	-	-	-	-	-	-
		11:00	697	612	1,309	53.2	1	0	0.1	0.1	-	-	-	-	-	-	-	-
		12:00	565	384	949	59.5	1	0	0.1	0.2	-	-	-	-	-	-	-	-
		13:00	540	366	906	59.6	0	0	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-
		14:00	626	330	956	65.5	2	0	0.2	0.3	-	-	-	-	-	-	-	-
		15:00	510	408	918	55.6	0	0	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-
		16:00	402	546	948	42.4	0	0	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-
		17:00	354	696	1,050	33.7	0	0	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	5,647	4,722	10,369	-	7	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
平均	565	472	1,037	54.5	0.7	0	0.1	0.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.2	令和7年11月5日	8:00	414	678	1,092	37.9	0	0	0.0	0.0	76	64	54	69.8	47	37	28	自動車
		9:00	379	768	1,147	33.0	1	0	0.1	0.3	75	65	57	69.2	43	35	28	自動車
		10:00	535	744	1,279	41.8	1	0	0.1	0.2	75	66	57	69.5	47	39	29	自動車
		11:00	465	792	1,257	37.0	3	0	0.2	0.6	76	67	57	70.2	47	39	29	自動車
		12:00	352	708	1,060	33.2	4	0	0.4	1.1	75	66	55	69.6	45	36	28	自動車
		13:00	386	642	1,028	37.5	2	0	0.2	0.5	75	66	58	69.7	45	37	31	自動車
		14:00	403	708	1,111	36.3	1	0	0.1	0.2	75	66	55	69.8	47	39	30	自動車
		15:00	434	840	1,274	34.1	2	0	0.2	0.5	75	65	58	68.7	44	36	28	自動車
		16:00	306	606	912	33.6	0	0	0.0	0.0	74	66	55	69.1	44	36	30	自動車
		17:00	180	834	1,014	17.8	0	0	0.0	0.0	74	65	55	68.0	42	33	25	自動車
合計	3,854	7,320	11,174	-	14	0	-	-	-	75	66	56	69	45	37	29	-	
平均	385	732	1,117	34.5	1.4	0	0.1	0.4	75	66	56	69	45	37	29	-		
No.3	令和7年11月5日	8:00	-	-	-	-	-	-	-	-	63	52	49	58.0	37	33	29	自動車
		9:00	-	-	-	-	-	-	-	-	66	58	55	61.3	40	36	33	自動車
		10:00	-	-	-	-	-	-	-	-	61	52	50	55.6	38	34	31	自動車
		11:00	-	-	-	-	-	-	-	-	60	54	52	56.0	39	36	34	自動車
		12:00	-	-	-	-	-	-	-	-	63	51	48	57.0	37	33	30	自動車
		13:00	-	-	-	-	-	-	-	-	62	54	49	57.3	38	34	31	自動車
		14:00	-	-	-	-	-	-	-	-	60	53	49	56.0	39	36	34	自動車
		15:00	-	-	-	-	-	-	-	-	62	53	49	57.8	36	33	30	自動車
		16:00	-	-	-	-	-	-	-	-	61	53	49	56.7	37	33	30	自動車
		17:00	-	-	-	-	-	-	-	-	63	52	49	60.0	37	31	28	自動車
合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	62	53	50	58	38	34	31	-	
平均	-	-	-	-	-	-	-	-	-	62	53	50	58	38	34	31	-	
No.4	令和7年11月5日	8:00	47	120	167	28.1	5	0	3.0	10.6	-	-	-	-	-	-	-	-
		9:00	120	73	193	62.2	61	1	31.6	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-
		10:00	91	58	149	61.1	53	4	35.6	53.8	-	-	-	-	-	-	-	-
		11:00	88	41	129	68.2	57	5	44.2	59.1	-	-	-	-	-	-	-	-
		12:00	69	72	141	48.9	27	0	19.1	39.1	-	-	-	-	-	-	-	-
		13:00	78	95	173	45.1	41	5	23.7	46.2	-	-	-	-	-	-	-	-
		14:00	72	76	148	48.6	22	4	14.9	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-
		15:00	34	63	97	35.1	13	3	13.4	29.4	-	-	-	-	-	-	-	-
		16:00	6	90	96	6.3	0	0	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-
		17:00	48	138	186	25.8	0	0	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	653	826	1,479	-	279	22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
平均	65	83	148	44.2	27.9	2.2	18.9	39.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

注：1. 騒音・振動は毎正時10分間計測値を示す。
 :2. 騒音レベルのL_{A5}、L_{A50}、L_{A95}及び振動レベルの平均は算術平均値、騒音レベルのL_{Aeq}の平均はエネルギー平均値である。
 :3. 総交通量は1時間値に補正したもの（一般車：10分間値×6＋廃棄物車：1時間値）を示し、廃棄物車数は1時間の全交通量を示す。
 :4. 総交通量（大型車）に占める廃棄物車（大型車）の混入率を示す。

大気質調査結果

表 2 - 3 二酸化硫黄測定結果 (令和 7 年 11 月 5 日～11 月 11 日)

(大阪基地 令和 7 年 11 月 調査結果)

測 定 点		No. 2		No. 3	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日 別 値	11月5日 (水)	0.007	0.008	0.003	0.004
	11月6日 (木)	0.007	0.010	0.003	0.005
	11月7日 (金)	0.005	0.006	0.003	0.004
	11月8日 (土)	0.005	0.010	0.003	0.005
	11月9日 (日)	0.002	0.004	0.002	0.003
	11月10日 (月)	0.003	0.003	0.003	0.004
	11月11日 (火)	0.003	0.005	0.003	0.004
有 効 測 定 日 数 (日)		7		7	
測 定 時 間 (時間)		168		168	
期 間 平 均 値 (ppm)		0.005		0.003	
日 平 均 値 の 最 高 値 (ppm)		0.007		0.003	
1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)		0.010		0.005	
1 時 間 値 が 0.1ppm を 超 え た 時 間 数 (時間)		0		0	
日 平 均 値 が 0.04ppm を 超 え た 日 数 (日)		0		0	

表 2 - 4 二酸化窒素測定結果 (令和 7 年 11 月 5 日～11 月 11 日)

(大阪基地 令和 7 年 11 月 調査結果)

測 定 点		No. 2		No. 3	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日 別 値	11月5日 (水)	0.015	0.021	0.013	0.026
	11月6日 (木)	0.015	0.030	0.013	0.025
	11月7日 (金)	0.014	0.037	0.012	0.039
	11月8日 (土)	0.014	0.024	0.012	0.024
	11月9日 (日)	0.012	0.027	0.009	0.024
	11月10日 (月)	0.012	0.027	0.011	0.023
	11月11日 (火)	0.015	0.028	0.017	0.036
有 効 測 定 日 数 (日)		7		7	
測 定 時 間 (時間)		168		168	
期 間 平 均 値 (ppm)		0.014		0.012	
日 平 均 値 の 最 高 値 (ppm)		0.015		0.017	
1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)		0.037		0.039	
1 時 間 値 が 0.2ppm を 超 え た 時 間 数 (時間)		0		0	
1 時 間 値 が 0.1ppm 以 上 、 0.2ppm 以 下 の 時 間 数 (時間)		0		0	
日 平 均 値 が 0.04ppm 以 上 、 0.06ppm 以 下 の 日 数 (日)		0		0	
日 平 均 値 が 0.06ppm を 超 え た 日 数 (日)		0		0	

表2-5 一酸化窒素測定結果 (令和7年11月5日~11月11日)

(大阪基地 令和7年11月調査結果)

測定点		No. 2		No. 3	
項目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値(ppm)	日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値(ppm)
日 別 値	11月5日 (水)	0.005	0.011	0.006	0.031
	11月6日 (木)	0.008	0.033	0.008	0.025
	11月7日 (金)	0.010	0.069	0.012	0.094
	11月8日 (土)	0.005	0.014	0.005	0.020
	11月9日 (日)	0.003	0.009	0.003	0.012
	11月10日 (月)	0.004	0.013	0.005	0.010
	11月11日 (火)	0.008	0.029	0.019	0.088
有効測定日数 (日)		7		7	
測定時間 (時間)		168		168	
期間平均値 (ppm)		0.006		0.008	
日平均値の最高値 (ppm)		0.010		0.019	
1時間値の最高値 (ppm)		0.069		0.094	

表2-6 窒素酸化物(NO+NO₂)測定結果 (令和7年11月5日~11月11日)

(大阪基地 令和7年11月調査結果)

測定点		No. 2			No. 3		
項目		日平均値		1時間値の 最高値(ppm)	日平均値		1時間値の 最高値(ppm)
		(ppm)	NO ₂ /NO _x (%)		(ppm)	NO ₂ /NO _x (%)	
日 別 値	11月5日 (水)	0.020	74.7	0.031	0.019	66.7	0.057
	11月6日 (木)	0.023	66.9	0.063	0.021	62.7	0.049
	11月7日 (金)	0.024	57.8	0.102	0.024	51.5	0.133
	11月8日 (土)	0.019	74.1	0.033	0.017	68.4	0.044
	11月9日 (日)	0.016	78.5	0.036	0.012	76.3	0.036
	11月10日 (月)	0.016	75.9	0.040	0.015	70.6	0.032
	11月11日 (火)	0.023	63.4	0.057	0.035	47.7	0.124
有効測定日数 (日)		7			7		
測定時間 (時間)		168			168		
期間平均値 (ppm)		0.020			0.021		
日平均値の最高値 (ppm)		0.024			0.035		
1時間値の最高値 (ppm)		0.102			0.133		
NO ₂ /(NO+NO ₂) (%)		69.2			60.4		

表2-7 浮遊粒子状物質測定結果 (令和7年11月5日~11月11日)

(大阪基地 令和7年11月調査結果)

測定点		No. 2		No. 3	
項目		日平均値 (mg/m ³)	1時間値の 最高値(mg/m ³)	日平均値 (mg/m ³)	1時間値の 最高値(mg/m ³)
日 別 値	11月5日 (水)	0.007	0.015	0.009	0.018
	11月6日 (木)	0.006	0.021	0.010	0.021
	11月7日 (金)	0.010	0.019	0.012	0.023
	11月8日 (土)	0.014	0.031	0.016	0.025
	11月9日 (日)	0.011	0.023	0.016	0.035
	11月10日 (月)	0.013	0.029	0.017	0.033
	11月11日 (火)	0.010	0.020	0.014	0.024
有効測定日数 (日)		7		7	
測定時間 (時間)		168		168	
期間平均値 (mg/m ³)		0.010		0.013	
日平均値の最高値 (mg/m ³)		0.014		0.017	
1時間値の最高値 (mg/m ³)		0.031		0.035	
1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数 (時間)		0		0	
日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数 (日)		0		0	

表2-8 風向・風速測定結果 (令和7年11月5日~11月11日)

(大阪基地 令和7年11月調査結果)

測定点		No. 2				No. 3				天候
項目		平均風速 (m/s)	風速		最多風向 (16方位)	平均風速 (m/s)	風速		最多風向 (16方位)	
			風速 (m/s)	風向 (16方位)			風速 (m/s)	風向 (16方位)		
日 別 値	11月5日 (水)	2.3	3.0	ENE	NE	2.6	3.4	NE	ENE	曇後時々雨
	11月6日 (木)	1.5	4.2	N	N	1.7	4.3	NNW	NNE	晴時々曇
	11月7日 (金)	1.9	3.8	N	N	2.2	4.5	NNE	NNE	晴後一時薄曇
	11月8日 (土)	1.3	2.1	ESE	NE	1.3	2.5	ENE	ENE	晴後一時曇
	11月9日 (日)	1.6	3.1	NE	NE	1.8	3.3	E, NE	ENE	雨
	11月10日 (月)	2.4	5.0	NW	NNW	2.7	6.5	W	W	晴一時曇
	11月11日 (火)	1.2	2.7	N	N	1.3	3.4	NE	NNE	晴時々曇
有効測定日数 (日)		7		7		7		7		
測定時間 (時間)		168		168		168		168		
期間平均風速 (m/s)		1.7		—		1.9		—		
期間最大風速 (m/s)		5.0		—		6.5		—		
期間最多風向 (16方位)		—		N		—		ENE		

注：1. 最多風向は、気象庁の気象観測統計指針に基づいて求めた。

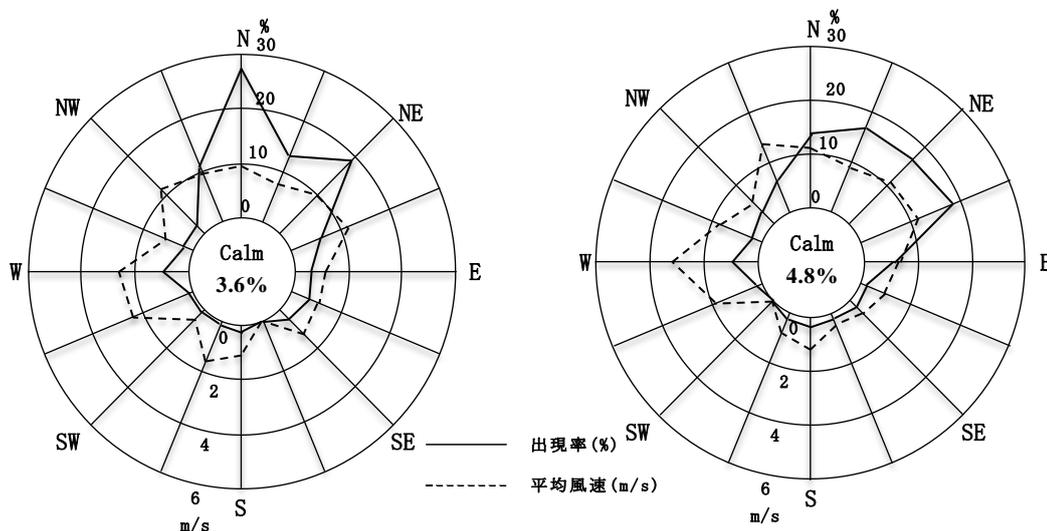
：2. 表中の天候は、大阪管区気象台の観測結果（昼：6:00~18:00）から引用した。

表 2 - 9 風向別出現頻度及び風向別平均風速 (令和 7 年 11 月 5 日 ~ 11 月 11 日)

(大阪基地 令和 7 年 11 月 調査結果)

測定点		No.2			No.3		
項目		出現回数 (回)	出現頻度 (%)	平均風速 (m/s)	出現回数 (回)	出現頻度 (%)	平均風速 (m/s)
風向	N	46	27.4	1.9	23	13.7	2.2
	NNE	22	13.1	1.5	28	16.7	1.8
	NE	32	19.0	2.0	28	16.7	2.2
	ENE	10	6	2.3	31	18.5	2.3
	E	5	3	1.1	9	5.4	1.3
	ESE	6	3.6	1.1	2	1.2	1.0
	SE	4	2.4	1.3	3	1.8	0.7
	SSE	—	—	—	2	1.2	0.5
	S	2	1.2	1.1	3	1.8	1.2
	SSW	1	0.6	1.6	2	1.2	0.8
	SW	1	0.6	0.5	—	—	—
	WSW	1	0.6	2.4	2	1.2	1.9
	W	8	4.8	2.6	8	4.8	3.2
	WNW	3	1.8	1.1	3	1.8	1.7
	NW	3	1.8	2.3	5	3	1.1
NNW	18	10.7	1.9	11	6.5	2.7	
calm		6	3.6	0.1	8	4.8	0.2
total		168	100.0	1.7	168	100.0	1.9

注：calmは静穏(風速0.4m/s未満)を示す。

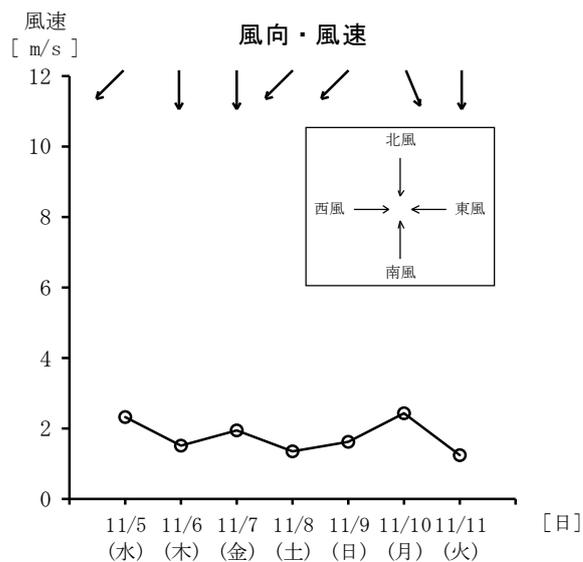
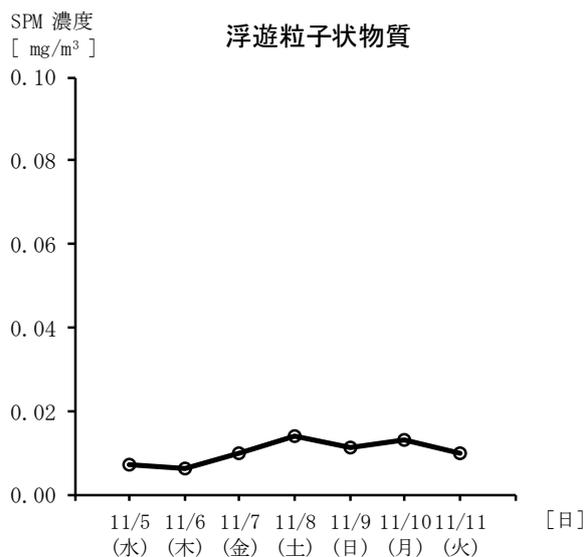
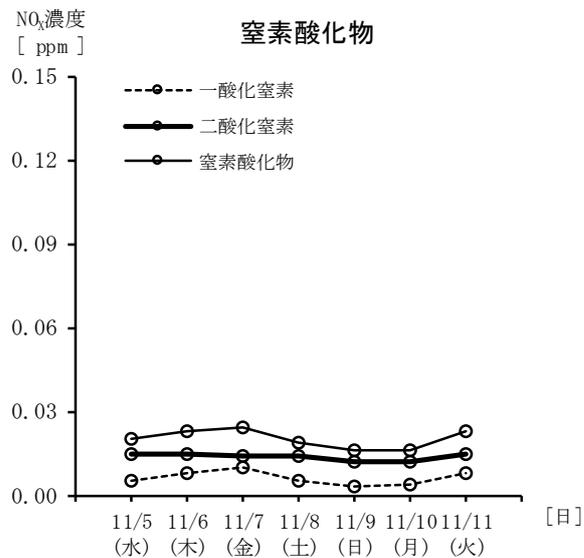
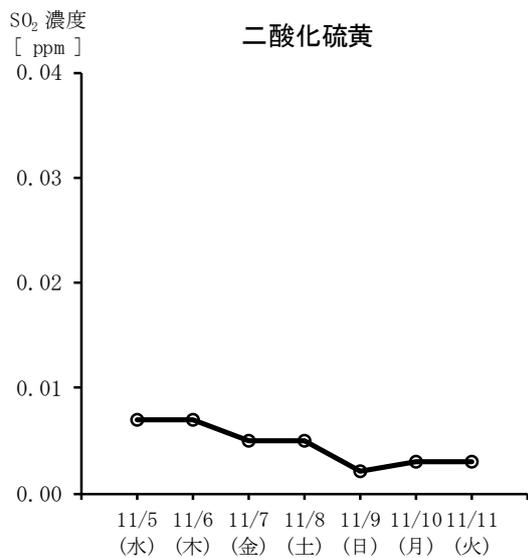


注：calmは静穏(風速0.4m/s未満)を示す。

測定点 No. 2

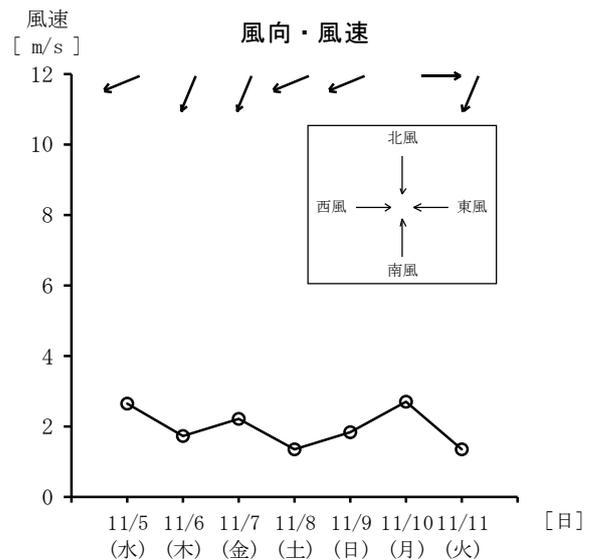
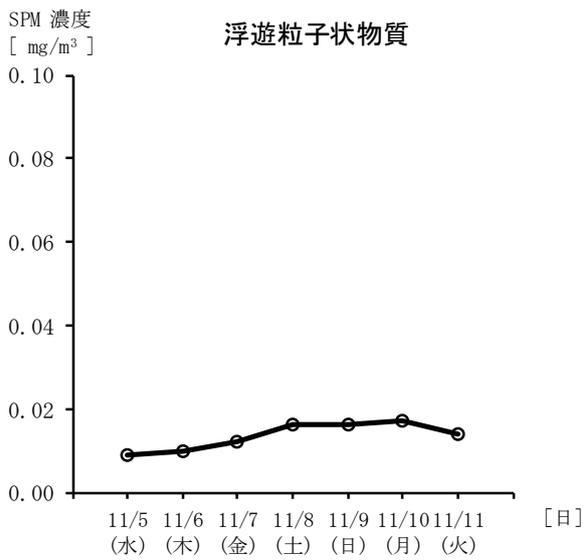
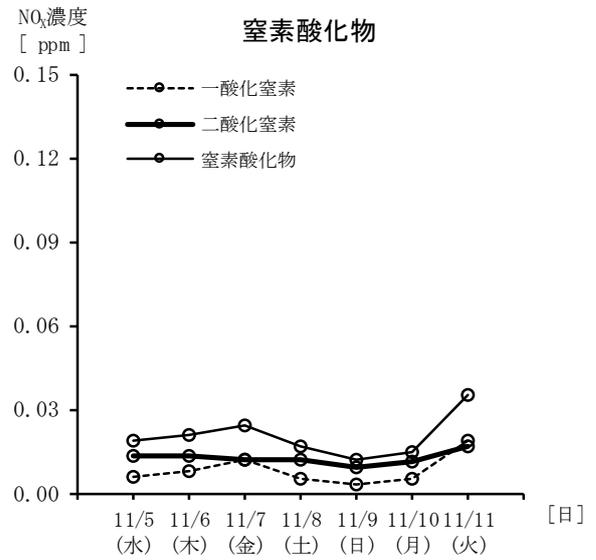
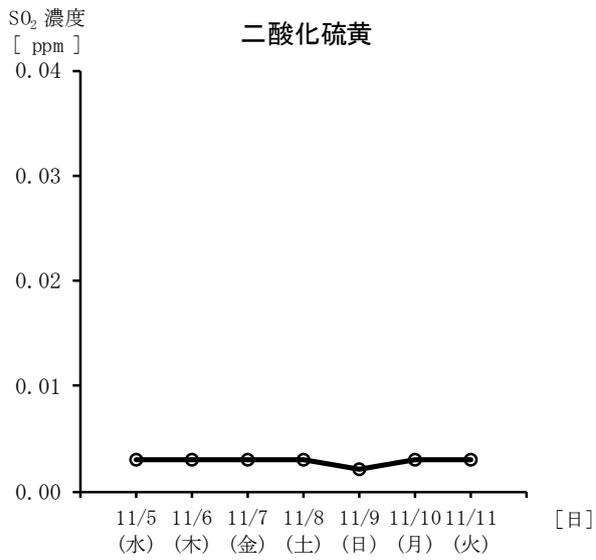
測定点 No. 3

図 2 - 2 風配図と風向別平均風速 (令和 7 年 11 月 5 日 ~ 11 月 11 日)



測定点 No. 2

図 2 - 3 大気質・気象日平均値変化図 (令和 7 年 11 月 5 日 ~ 11 月 11 日)



測定点 No. 3

図 2 - 4 大気質・気象日平均値変化図 (令和 7 年 11 月 5 日 ~ 11 月 11 日)

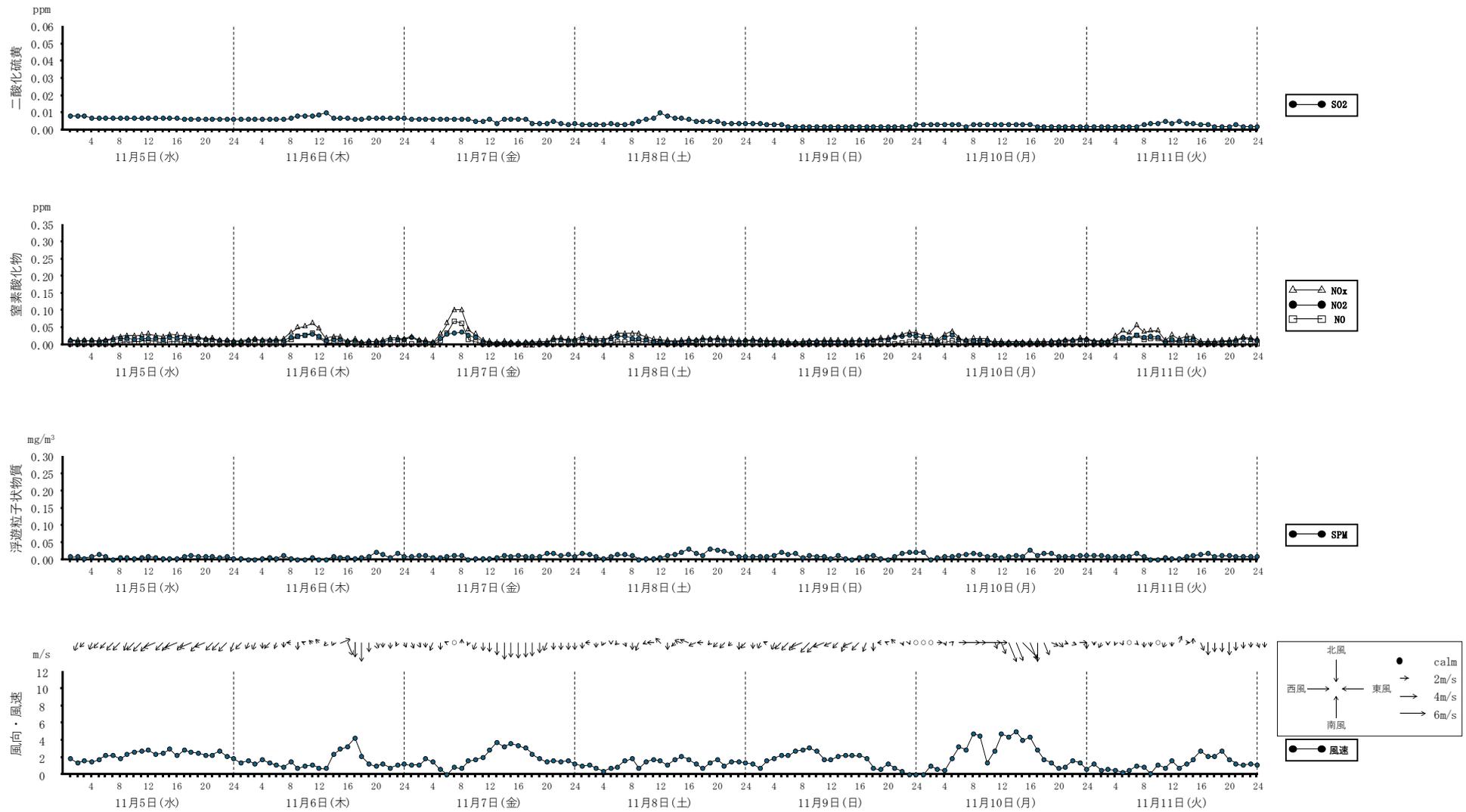


図 2 - 5 大気質・気象時系列変化図 (令和 7 年 11 月 5 日 ~ 11 月 11 日) 測定点 No. 2

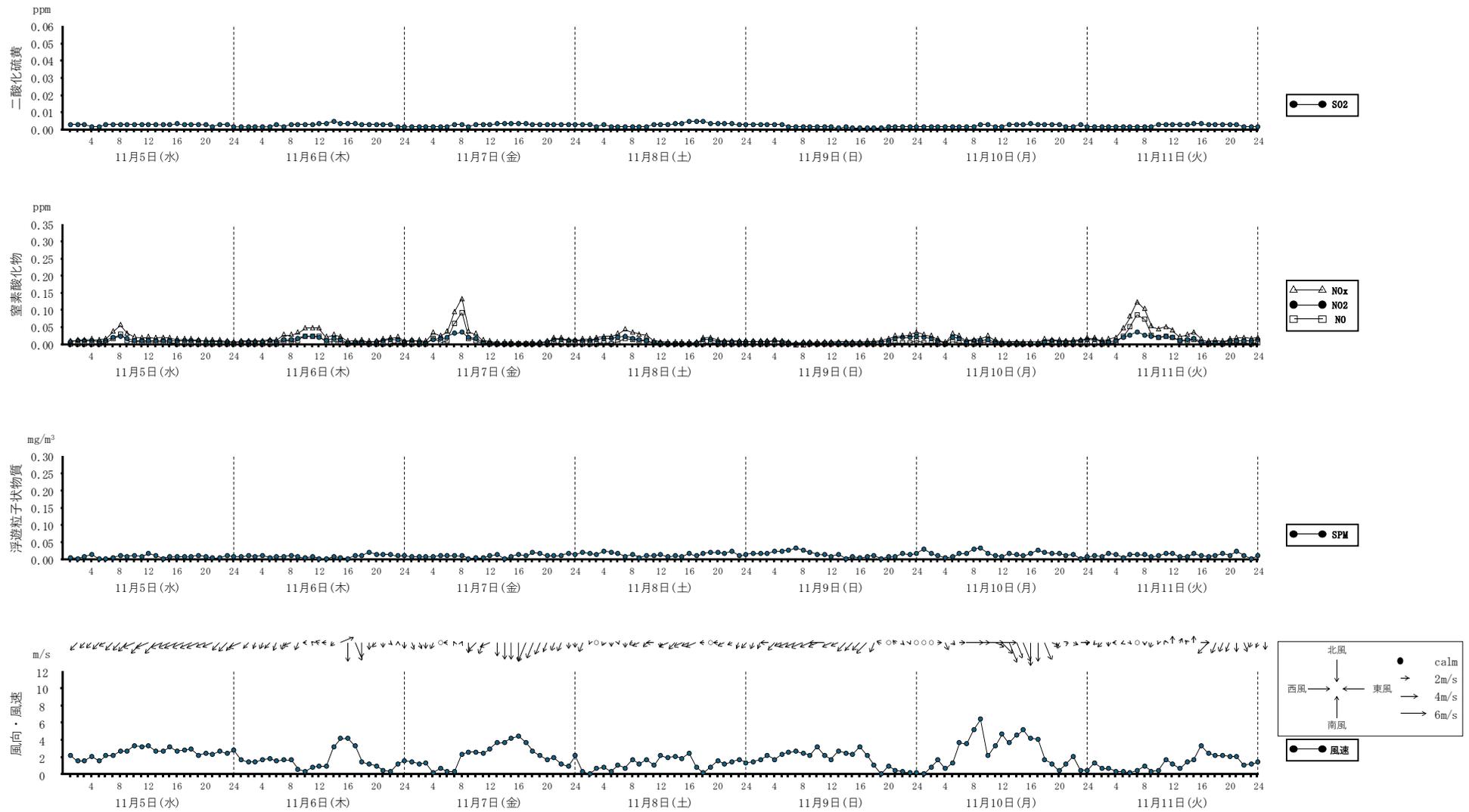


図 2 - 6 大気質・気象時系列変化図 (令和 7 年 11 月 5 日 ~ 11 月 11 日) 測定点 No. 3

堺 基 地

Ⅲ 堺基地

1 環境監視結果の概要

1. 1 環境監視の実施状況

環境監視計画に基づく令和7年11月の環境監視の実施状況は次表のとおりである。

なお、調査地点位置については図3-1に示す。

環境項目	測定・調査項目	測定点	測定点数	調査内容	実施日
交通量	総交通量(2車種分類 ^{注1})	No.1 No.2	4地点	10時間 ^{注2} (毎正時10分間)	11月13日 8時～18時 ^{注2}
	廃棄物車数(2車種分類 ^{注1})	No.3 No.4		10時間 ^{注2} (連続)	
騒音・振動	騒音、振動	No.1 No.2	2地点	10時間 (毎正時10分間)	11月13日 8時～18時
大気質	二酸化硫黄、 一酸化窒素、 二酸化窒素、 浮遊粒子状物質、 風向・風速	No.1 No.2	2地点	1週間 (連続)	11月13日 0時30分～ 11月20日 0時30分

注：1．2車種分類とは、総交通量、廃棄物とも大型車と大型車以外の2種とする。

：2．測定点No.4の交通量の調査時間については、堺基地入場門の閉鎖が16時45分であるため、8時から17時までの9時間とした。

1. 2 環境監視の結果

交通量、騒音・振動及び大気質の監視結果については、総括を表3-1に、各測定・調査項目ごとの結果を表3-2～表3-9及び図3-2～図3-6に示す。

(1) 交通量(表3-1、表3-2)

7) 大阪臨海線沿道の測定点 (No.1)

時間交通量は1,806～3,366台、廃棄物車の時間交通量は0～6台で推移し、測定日の廃棄物車総交通量は16台/10hrで、総交通量(23,650台/10hr)に占める割合は0.1%であった。この地点における総交通量に占める事業の廃棄物車の割合は小さいものと考えられる。

1) 堺狭山線沿道の測定点 (No.2)

時間交通量は930～1,644台、廃棄物車の時間交通量は0～3台で推移し、測定日の廃棄物車総交通量は5台/10hrで、総交通量(13,265台/10hr)に占める割合は0.0%であった。この地点における総交通量に占める事業の廃棄物車の割合は小さいものと考えられる。

えられる。

ウ) 大阪臨海線沿道の測定点 (No. 3)

時間交通量は1,722~2,832台、廃棄物車の時間交通量は0~2台で推移し、測定日の廃棄物車総交通量は6台/10hrで、総交通量(21,390台/10hr)に占める割合は0.0%であった。この地点における総交通量に占める事業の廃棄物車の割合は小さいものと考えられる。

エ) 堺基地近傍の測定点 (No. 4)

時間交通量は1~46台、廃棄物車の時間交通量は1~46台で推移し、測定日の廃棄物車総交通量は186台/9hrで、総交通量(216台/9hr)に占める割合は86.1%であった。

(2) 騒音・振動 (表3-1、表3-2)

① 騒音

ア) 大阪臨海線沿道の測定点 (No. 1)

等価騒音レベル(L_{Aeq})は72.3~74.4dB(平均73dB)であり、時間率騒音レベルの中央値(L_{A50})は70~73dB(平均71dB)であった。等価騒音レベルの平均値(8:00~18:00)は環境基準値(70dB)を上回り、要請限度(75dB)を下回った。

なお、この地点の主要音源は自動車走行騒音であるが、廃棄物車両の総交通量に占める割合が平均0.1%(0.0~0.3%)であるため、当センター事業の廃棄物車両による影響は小さいと考えられる。

イ) 堺狭山線沿道の測定点 (No. 2)

等価騒音レベル(L_{Aeq})は63.3~65.6dB(平均64dB)であり、時間率騒音レベルの中央値(L_{A50})は59~63dB(平均61dB)であった。等価騒音レベルの平均値(8:00~18:00)は環境基準値(70dB)・要請限度(75dB)を下回っていた。

② 振動

80%レンジの上端値(L_{10})は、測定点No.1では44～49dB(平均47dB)であり、測定点No.2では37～43dB(平均40dB)であった。 (L_{10}) の平均値(8:00～18:00)は、共に要請限度(No.1は65dB、No.2は70dB)を下回っていた。

(3) 大気質(表3-1、表3-3～表3-9)

7) 大阪臨海線沿道の測定点(No.1)

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は東南東であり、平均風速は1.1m/sであった。

イ) 堺狭山線沿道の測定点(No.2)

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は北北東であり、平均風速は0.7m/sであった。

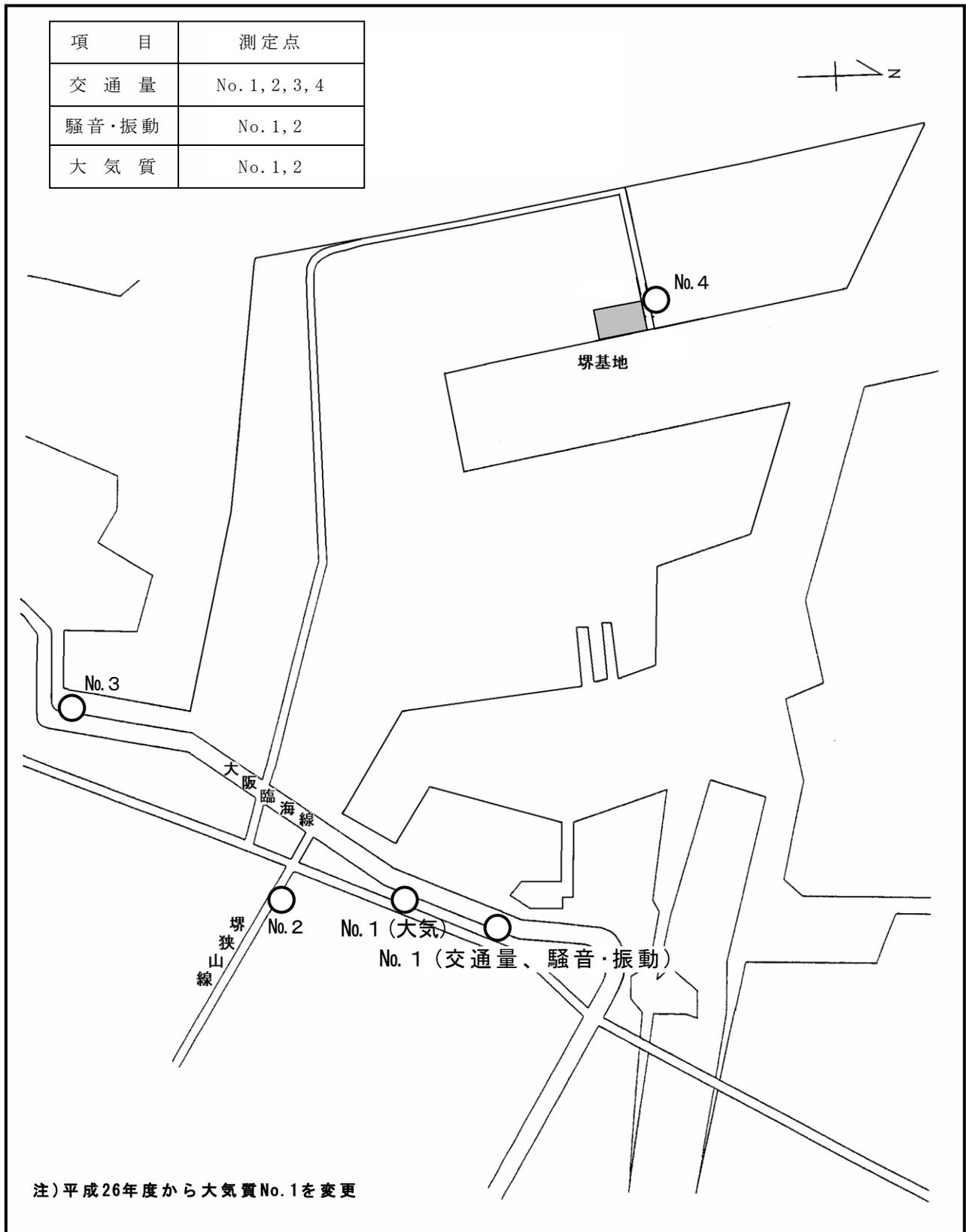


図3-1 環境監視調査地点位置図（堺基地）

2 環境監視結果

表 3 - 1 監視結果総括

(堺基地 令和7年11月調査結果)

測 定 点				No. 1	No. 2	No. 3	No. 4	
交通量 (8:00~ 18:00)	調 査 日			11月13日	11月13日	11月13日	11月13日	
	総交通量	最大時間交通量	(台)	3,366	1,644	2,832	46	
		最小時間交通量		1,806	930	1,722	1	
		総交通量		23,650	13,265	21,390	216	
	廃棄物 車 数	最大時間交通量	(台)	6	3	2	46	
		最小時間交通量		0	0	0	1	
		総交通量		16	5	6	186	
廃 棄 物 車 混 入 率			(%)	0.1	0.0	0.0	86.1	
騒音・振動 (8:00~ 18:00)	調 査 日			11月13日	11月13日	—	—	
	騒音 (L_{Aeq})	一 時 間 値	(dB)	72.3 ~ 74.4	63.3 ~ 65.6	—	—	
		時 間 平 均 値		73	64	—	—	
	騒音 (L_{A50})	一 時 間 値		70 ~ 73	59 ~ 63	—	—	
		時 間 平 均 値		71	61	—	—	
	振動 (L_{10})	一 時 間 値		44 ~ 49	37 ~ 43	—	—	
時 間 平 均 値		47		40	—	—		
大 気 質	調 査 日			11月13日~19日	11月13日~19日	—	—	
	二酸化 硫 黄	日平均値	(ppm)	0.002 ~ 0.005	0.001 ~ 0.004	—	—	
		期間平均値		0.004	0.003	—	—	
		日平均値が0.04ppmを超えた日数		(日)	0	0	—	—
		1時間値が0.1ppmを超えた時間数		(時間)	0	0	—	—
	二酸化 窒 素	日平均値	(ppm)	0.011 ~ 0.027	0.010 ~ 0.025	—	—	
		期間平均値		0.018	0.016	—	—	
		日平均値が0.04ppm以上、0.06ppm以下の日数		(日)	0	0	—	—
		日平均値が0.06ppmを超えた日数		(日)	0	0	—	—
	浮遊粒子 状 物 質	日平均値	(mg/m ³)	0.010 ~ 0.023	0.006 ~ 0.019	—	—	
		期間平均値		0.017	0.013	—	—	
		日平均値が0.1mg/m ³ を超えた日数		(日)	0	0	—	—
		1時間値が0.2mg/m ³ を超えた時間数		(時間)	0	0	—	—
	風 速	日平均値	(m/s)	0.7 ~ 1.7	0.4 ~ 1.3	—	—	
期間平均値		1.1		0.7	—	—		
風 向	最多風向	16方位	ESE	NNE	—	—		

表 3 - 2 交通量・騒音・振動調査結果

(堺基地周辺 令和7年11月結果)

測定点	測定年月日	測定時刻	交通条件								騒音レベル (dB)				振動レベル (dB)			主な騒音源
			総交通量 注3)				廃棄物車数 (台)		廃棄物車混入率 (%)									
			大型車 (台)	大型車以外 (台)	合計 (台)	大型車混入率 (%)	全車両	大型車以外	廃棄物車/全車両	注4	L _{A5}	L _{A50}	L _{A95}	L _{Aeq}	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	
No.1 注5	令和7年 11月13日	8:00	697	1,326	2,023	34.5	1	0	0.0	0.1	77	70	63	72.3	44	41	38	自動車
		9:00	1,092	1,242	2,334	46.8	6	0	0.3	0.5	78	72	64	73.0	47	44	42	自動車
		10:00	1,301	1,044	2,345	55.5	5	0	0.2	0.4	78	73	65	73.6	48	45	42	自動車
		11:00	1,087	1,038	2,125	51.2	1	0	0.0	0.1	78	71	66	73.4	49	46	43	自動車
		12:00	985	1,146	2,131	46.2	1	0	0.0	0.1	79	72	65	74.4	48	45	42	自動車
		13:00	726	1,080	1,806	40.2	0	0	0.0	0.0	77	71	64	72.7	47	43	40	自動車
		14:00	1,100	1,482	2,582	42.6	2	0	0.1	0.2	77	72	65	73.1	48	44	41	自動車
		15:00	918	1,404	2,322	39.5	0	0	0.0	0.0	78	71	65	73.3	47	44	40	自動車
		16:00	768	1,848	2,616	29.4	0	0	0.0	0.0	78	70	64	72.7	46	43	38	自動車
		17:00	462	2,904	3,366	13.7	0	0	0.0	0.0	77	71	62	72.6	44	41	38	自動車
合計		9,136	14,514	23,650	—	16	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
平均		914	1,451	2,365	38.6	1.6	0	0.1	0.2	78	71	64	73	47	44	40	—	
No.2 注5	令和7年 11月13日	8:00	222	708	930	23.9	0	0	0.0	0.0	70	61	51	64.7	37	31	27	自動車
		9:00	446	871	1,317	33.9	3	1	0.2	0.4	71	60	48	64.8	42	34	30	自動車
		10:00	445	756	1,201	37.1	1	0	0.1	0.2	72	62	51	65.6	43	35	30	自動車
		11:00	390	1,032	1,422	27.4	0	0	0.0	0.0	71	62	48	64.8	41	35	31	自動車
		12:00	378	912	1,290	29.3	0	0	0.0	0.0	70	60	49	63.9	40	34	29	自動車
		13:00	409	918	1,327	30.8	1	0	0.1	0.2	69	61	51	63.7	40	33	28	自動車
		14:00	552	870	1,422	38.8	0	0	0.0	0.0	71	63	50	65.4	43	35	30	自動車
		15:00	360	948	1,308	27.5	0	0	0.0	0.0	70	60	51	64.2	40	32	29	自動車
		16:00	264	1,140	1,404	18.8	0	0	0.0	0.0	69	60	50	63.3	40	32	28	自動車
		17:00	156	1,488	1,644	9.5	0	0	0.0	0.0	69	59	50	63.7	37	30	27	自動車
合計		3,622	9,643	13,265	—	5	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
平均		362	964	1,327	27.3	0.5	0.1	0.0	0.1	70	61	50	64	40	33	29	—	
No.3 注5	令和7年 11月13日	8:00	841	1,795	2,636	31.9	2	1	0.1	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—
		9:00	1,104	1,135	2,239	49.3	1	1	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		10:00	1,002	828	1,830	54.8	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		11:00	1,159	858	2,017	57.5	1	0	0.0	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—
		12:00	943	984	1,927	48.9	1	0	0.1	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—
		13:00	762	960	1,722	44.3	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		14:00	1,015	1,002	2,017	50.3	1	0	0.0	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—
		15:00	888	1,206	2,094	42.4	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		16:00	582	1,494	2,076	28.0	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		17:00	264	2,568	2,832	9.3	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
合計		8,560	12,830	21,390	—	6	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
平均		856	1,283	2,139	40.0	0.6	0.2	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.4	令和7年 11月13日	8:00	17	12	29	58.6	11	0	37.9	64.7	—	—	—	—	—	—	—	—
		9:00	43	3	46	93.5	46	3	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		10:00	26	12	38	68.4	32	6	84.2	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		11:00	18	3	21	85.7	21	3	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		12:00	22	6	28	78.6	22	0	78.6	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		13:00	20	2	22	90.9	22	2	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		14:00	24	0	24	100.0	24	0	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		15:00	5	2	7	71.4	7	2	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		16:00	1	0	1	100.0	1	0	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		17:00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計		176	40	216	—	186	16	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
平均		20	4	24	81.5	20.7	1.8	86.1	96.6	—	—	—	—	—	—	—	—	

注：1. 騒音・振動は毎正時10分間計測値を示す。

：2. 騒音レベルのL_{A5}、L_{A50}、L_{A95}及び振動レベルの平均は算術平均値、騒音レベルのL_{Aeq}の平均はエネルギー平均値である。

：3. 総交通量は1時間値に補正したもの（一般車：10分間値×6＋廃棄物車：1時間値）を示し、廃棄物車数は1時間の全交通量を示す。

：4. 総交通量（大型車）に占める廃棄物車（大型車）の混入率を示す。

：5. 測定点No.1、No.2、No.3の廃棄物車数については、泉大津基地への搬入車両を含む。

大気質調査結果

表3-3 二酸化硫黄測定結果 (令和7年11月13日～11月19日)

(堺基地 令和7年11月調査結果)

測定点		No. 1		No. 2	
項目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値(ppm)	日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値(ppm)
日 別 値	11月13日 (木)	0.004	0.007	0.004	0.006
	11月14日 (金)	0.005	0.007	0.004	0.008
	11月15日 (土)	0.004	0.007	0.003	0.006
	11月16日 (日)	0.004	0.006	0.003	0.008
	11月17日 (月)	0.005	0.009	0.004	0.012
	11月18日 (火)	0.003	0.005	0.002	0.012
	11月19日 (水)	0.002	0.004	0.001	0.003
有効測定日数 (日)		7		7	
測定時間 (時間)		168		168	
期間平均値 (ppm)		0.004		0.003	
日平均値の最高値 (ppm)		0.005		0.004	
1時間値の最高値 (ppm)		0.009		0.012	
1時間値が0.1ppmを超えた時間数 (時間)		0		0	
日平均値が0.04ppmを超えた日数 (日)		0		0	

表3-4 二酸化窒素測定結果 (令和7年11月13日～11月19日)

(堺基地 令和7年11月調査結果)

測定点		No. 1		No. 2	
項目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値(ppm)	日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値(ppm)
日 別 値	11月13日 (木)	0.027	0.045	0.025	0.042
	11月14日 (金)	0.025	0.044	0.021	0.031
	11月15日 (土)	0.015	0.023	0.013	0.019
	11月16日 (日)	0.011	0.028	0.010	0.025
	11月17日 (月)	0.018	0.041	0.016	0.038
	11月18日 (火)	0.013	0.033	0.013	0.020
	11月19日 (水)	0.014	0.026	0.013	0.019
有効測定日数 (日)		7		7	
測定時間 (時間)		168		168	
期間平均値 (ppm)		0.018		0.016	
日平均値の最高値 (ppm)		0.027		0.025	
1時間値の最高値 (ppm)		0.045		0.042	
1時間値が0.2ppmを超えた時間数 (時間)		0		0	
1時間値が0.1ppm以上、0.2ppm以下の時間数 (時間)		0		0	
日平均値が0.04ppm以上、0.06ppm以下の日数 (日)		0		0	
日平均値が0.06ppmを超えた日数 (日)		0		0	

表3-5 一酸化窒素測定結果 (令和7年11月13日～11月19日)

(堺基地 令和7年11月調査結果)

測定点		No. 1		No. 2	
項目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値(ppm)	日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値(ppm)
日 別 値	11月13日 (木)	0.015	0.034	0.028	0.050
	11月14日 (金)	0.017	0.059	0.033	0.086
	11月15日 (土)	0.005	0.013	0.012	0.024
	11月16日 (日)	0.002	0.004	0.008	0.017
	11月17日 (月)	0.010	0.043	0.019	0.078
	11月18日 (火)	0.007	0.021	0.015	0.032
	11月19日 (水)	0.007	0.025	0.012	0.031
有効測定日数 (日)		7		7	
測定時間 (時間)		168		168	
期間平均値 (ppm)		0.009		0.018	
日平均値の最高値 (ppm)		0.017		0.033	
1時間値の最高値 (ppm)		0.059		0.086	

表3-6 窒素酸化物(NO+NO₂)測定結果 (令和7年11月13日～11月19日)

(堺基地 令和7年11月調査結果)

測定点		No. 1			No. 2		
項目		日平均値		1時間値の 最高値(ppm)	日平均値		1時間値の 最高値(ppm)
		(ppm)	NO ₂ /NO _x (%)		(ppm)	NO ₂ /NO _x (%)	
日 別 値	11月13日 (木)	0.042	64.2	0.079	0.053	47.8	0.091
	11月14日 (金)	0.042	59.2	0.082	0.054	39.1	0.117
	11月15日 (土)	0.020	75.9	0.035	0.025	52.6	0.041
	11月16日 (日)	0.013	84.8	0.031	0.018	54.8	0.042
	11月17日 (月)	0.028	64.3	0.084	0.035	46.0	0.116
	11月18日 (火)	0.020	66.6	0.054	0.029	47.1	0.050
	11月19日 (水)	0.021	68.8	0.051	0.025	50.3	0.050
有効測定日数 (日)		7			7		
測定時間 (時間)		168			168		
期間平均値 (ppm)		0.027			0.034		
日平均値の最高値 (ppm)		0.042			0.054		
1時間値の最高値 (ppm)		0.084			0.117		
NO ₂ /(NO+NO ₂) (%)		66.6			46.8		

表3-7 浮遊粒子状物質測定結果 (令和7年11月13日～11月19日)

(堺基地 令和7年11月調査結果)

測定点		No. 1		No. 2	
項目		日平均値 (mg/m ³)	1時間値の 最高値(mg/m ³)	日平均値 (mg/m ³)	1時間値の 最高値(mg/m ³)
日 別 値	11月13日 (木)	0.022	0.048	0.019	0.038
	11月14日 (金)	0.023	0.034	0.018	0.031
	11月15日 (土)	0.017	0.040	0.015	0.028
	11月16日 (日)	0.016	0.036	0.008	0.021
	11月17日 (月)	0.016	0.034	0.018	0.035
	11月18日 (火)	0.013	0.021	0.010	0.021
	11月19日 (水)	0.010	0.025	0.006	0.020
有効測定日数 (日)		7		7	
測定時間 (時間)		168		168	
期間平均値 (mg/m ³)		0.017		0.013	
日平均値の最高値 (mg/m ³)		0.023		0.019	
1時間値の最高値 (mg/m ³)		0.048		0.038	
1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数 (時間)		0		0	
日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数 (日)		0		0	

表3-8 風向・風速観測結果 (令和7年11月13日～11月19日)

(堺基地 令和7年11月調査結果)

測定点		No. 1				No. 2				天候
項目		風速			最多 風向 (16方 位)	風速			最多 風向 (16方 位)	
		平均 風速 (m/s)	最大風速			平均 風速 (m/s)	最大風速			
			風速 (m/s)	風向 (16方位)			風速 (m/s)	風向 (16方位)		
日 別 値	11月13日 (木)	0.8	1.2	SE, ESE	ESE	0.5	1.2	NNE	NNE	曇
	11月14日 (金)	0.7	1.5	N, NE	ESE	0.5	1.9	NE	NE	晴
	11月15日 (土)	0.9	1.6	NE	SE	0.4	1.3	W	NNE	晴
	11月16日 (日)	0.9	1.6	ESE	SE	0.5	1.0	NNE, SSE	NNE	晴
	11月17日 (月)	1.3	2.2	NNE	W	1.0	2.3	NNE	NNE	晴後曇
	11月18日 (火)	1.7	2.7	WNW	WNW	1.3	2.4	NE	NE	曇時々晴
	11月19日 (水)	1.1	1.6	NNE, ESE	ENE	0.8	1.8	NNE	NNE	晴時々曇
有効測定日数 (日)		7			7	7			7	
測定時間 (時間)		168			168	168			168	
期間平均風速 (m/s)		1.1			—	0.7			—	
期間最大風速 (m/s)		2.7			—	2.4			—	
期間最多風向 (16方位)		—			ESE	—			NNE	

注：1. 最多風向は、気象庁の気象観測統計指針に基づいて求めた。

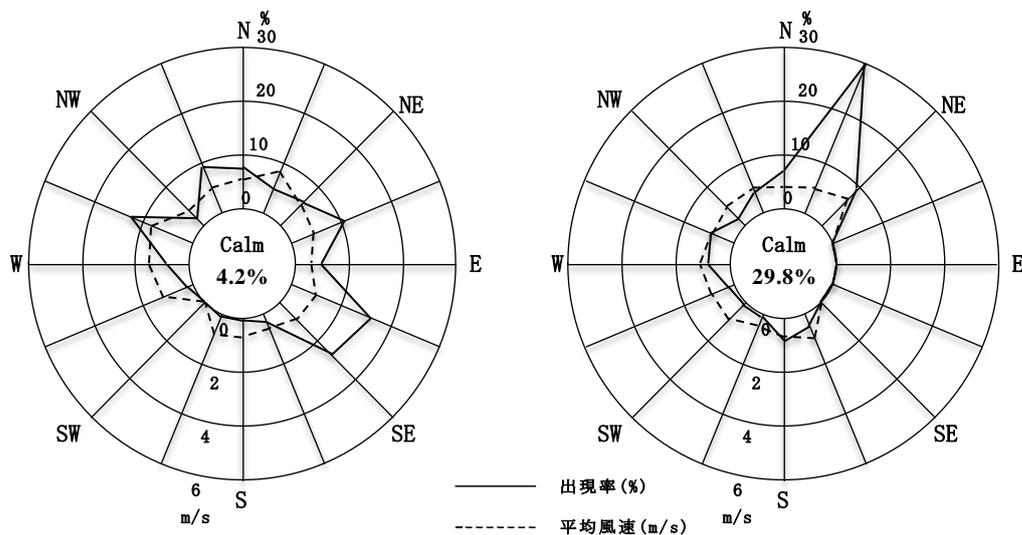
：2. 表中の天候は、大阪管区気象台の観測結果（昼：6:00～18:00）から引用した。

表 3 - 9 風向別出現頻度及び風向別平均風速 (令和 7 年11月13日～11月19日)

(堺基地 令和7年11月調査結果)

測定点		No.1			No.2		
項目		出現回数 (回)	出現頻度 (%)	平均風速 (m/s)	出現回数 (回)	出現頻度 (%)	平均風速 (m/s)
風向	N	13	7.7	1.1	12	7.1	0.8
	NNE	8	4.8	1.7	50	29.8	1.0
	NE	10	6.0	1.1	16	9.5	1.4
	ENE	18	10.7	0.9	—	—	—
	E	8	4.8	0.6	—	—	—
	ESE	27	16.1	1.0	—	—	—
	SE	23	13.7	0.9	—	—	—
	SSE	3	1.8	0.6	4	2.4	1.0
	S	1	0.6	0.7	7	4.2	0.7
	SSW	1	0.6	0.8	1	0.6	0.5
	SW	—	—	—	1	0.6	0.9
	WSW	2	1.2	1.2	2	1.2	0.9
	W	7	4.2	1.5	7	4.2	1.1
	WNW	21	12.5	1.7	8	4.8	0.9
	NW	3	1.8	0.8	3	1.8	1.0
NNW	16	9.5	1.0	7	4.2	1.0	
calm		7	4.2	0.2	50	29.8	0.1
total		168	100.0	1.1	168	100.0	0.7

注：calmは静穏(風速0.4m/s未満)を示す。

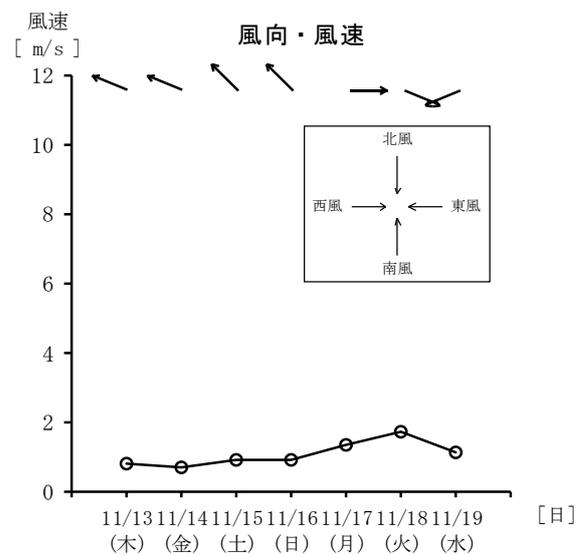
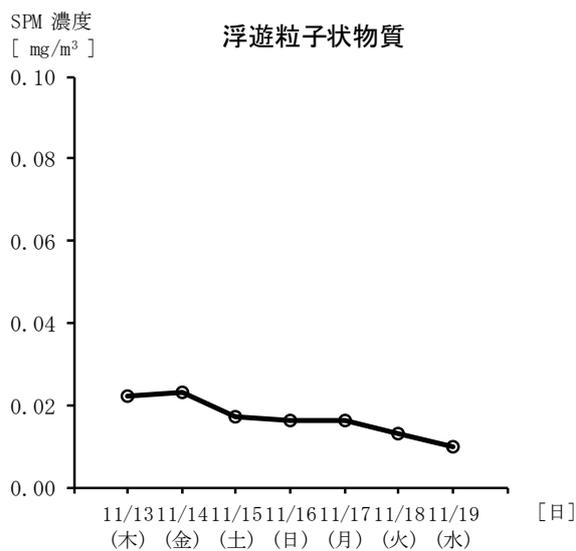
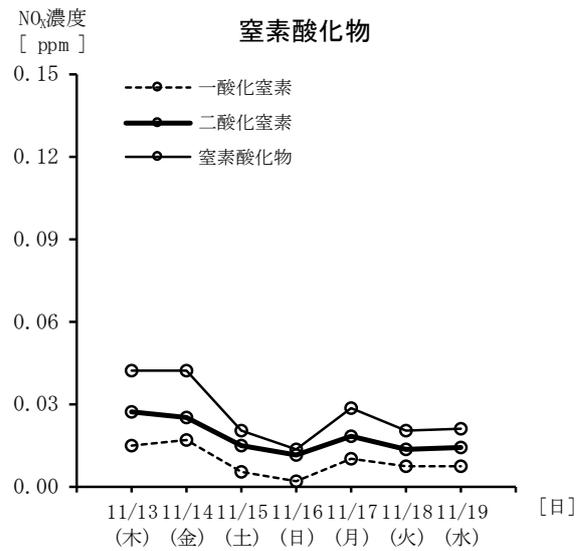
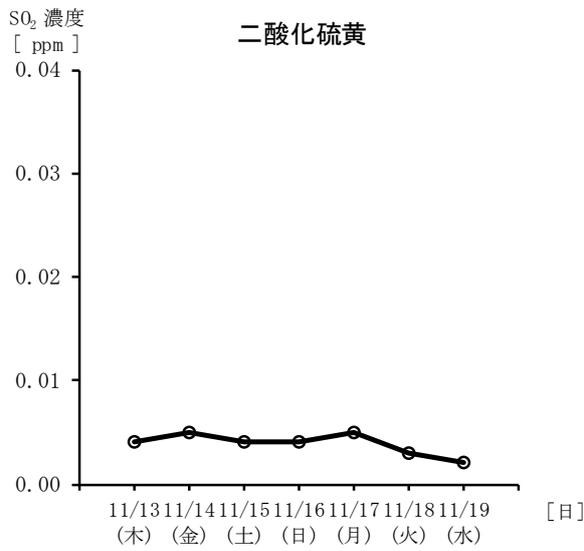


注：calmは静穏(風速0.4m/s未満)を示す。

測定点 No. 1

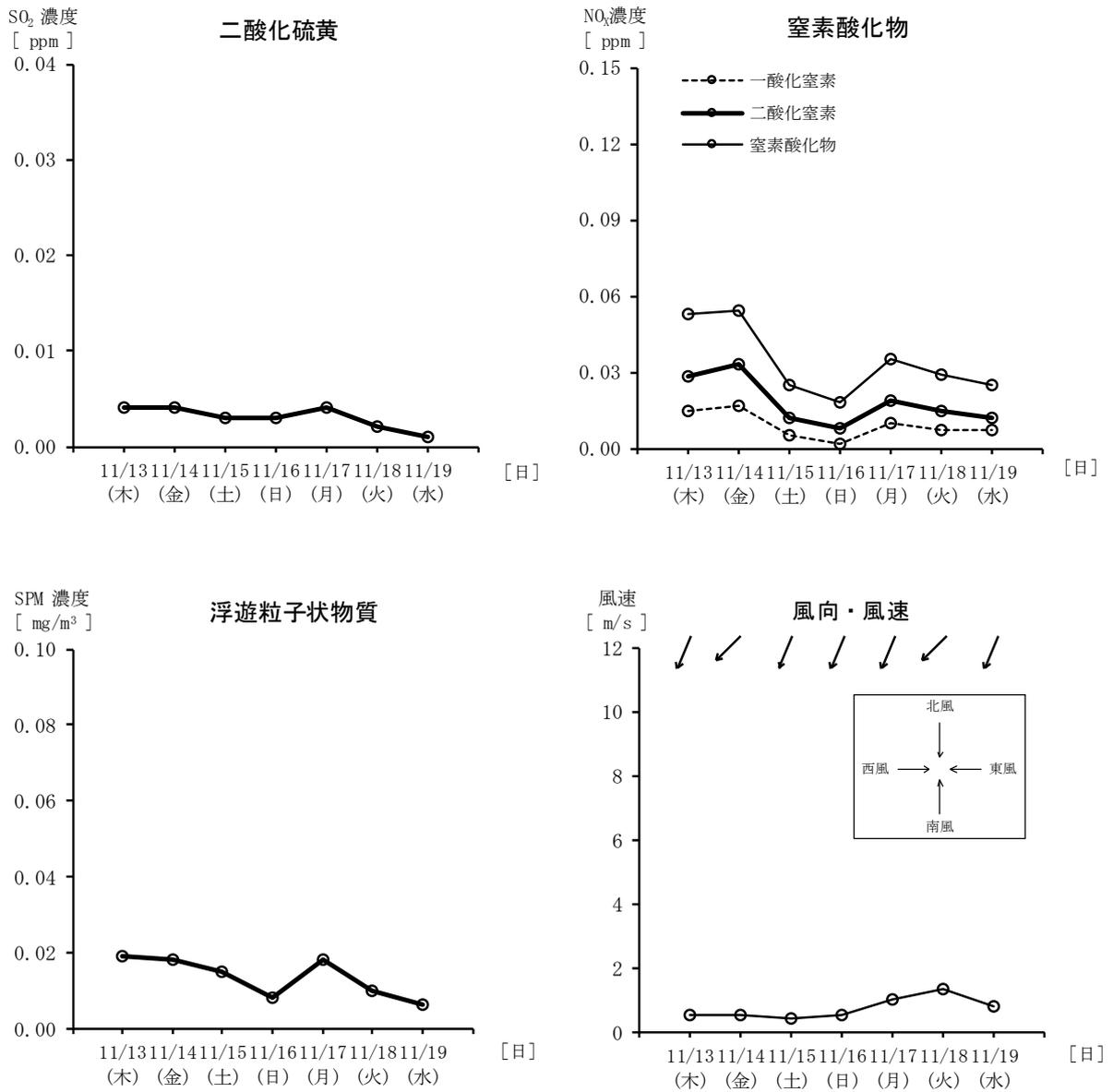
測定点 No. 2

図 3 - 2 風配図と風向別平均風速 (令和 7 年11月13日～11月19日)



測定点 No. 1

図 3 - 3 大気質・気象日平均値変化図 (令和 7 年 11 月 13 日 ~ 11 月 19 日)



測定点 No. 2

図 3 - 4 大気質・気象日平均値変化図 (令和 7 年 11 月 13 日 ~ 11 月 19 日)

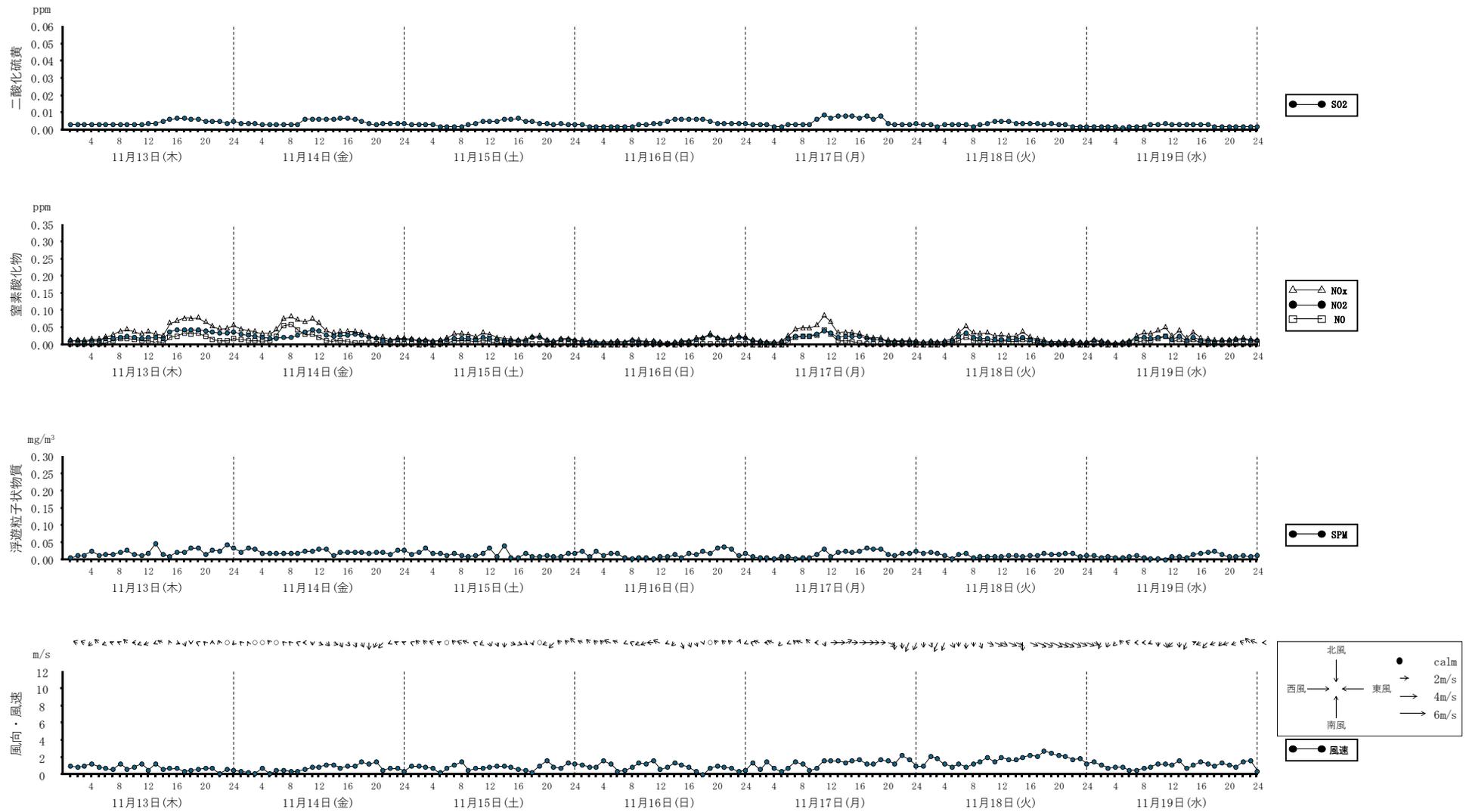


図 3-5 大気質・気象時系列変化図 (令和 7 年 11 月 13 日～11 月 19 日) 測定点 No. 1

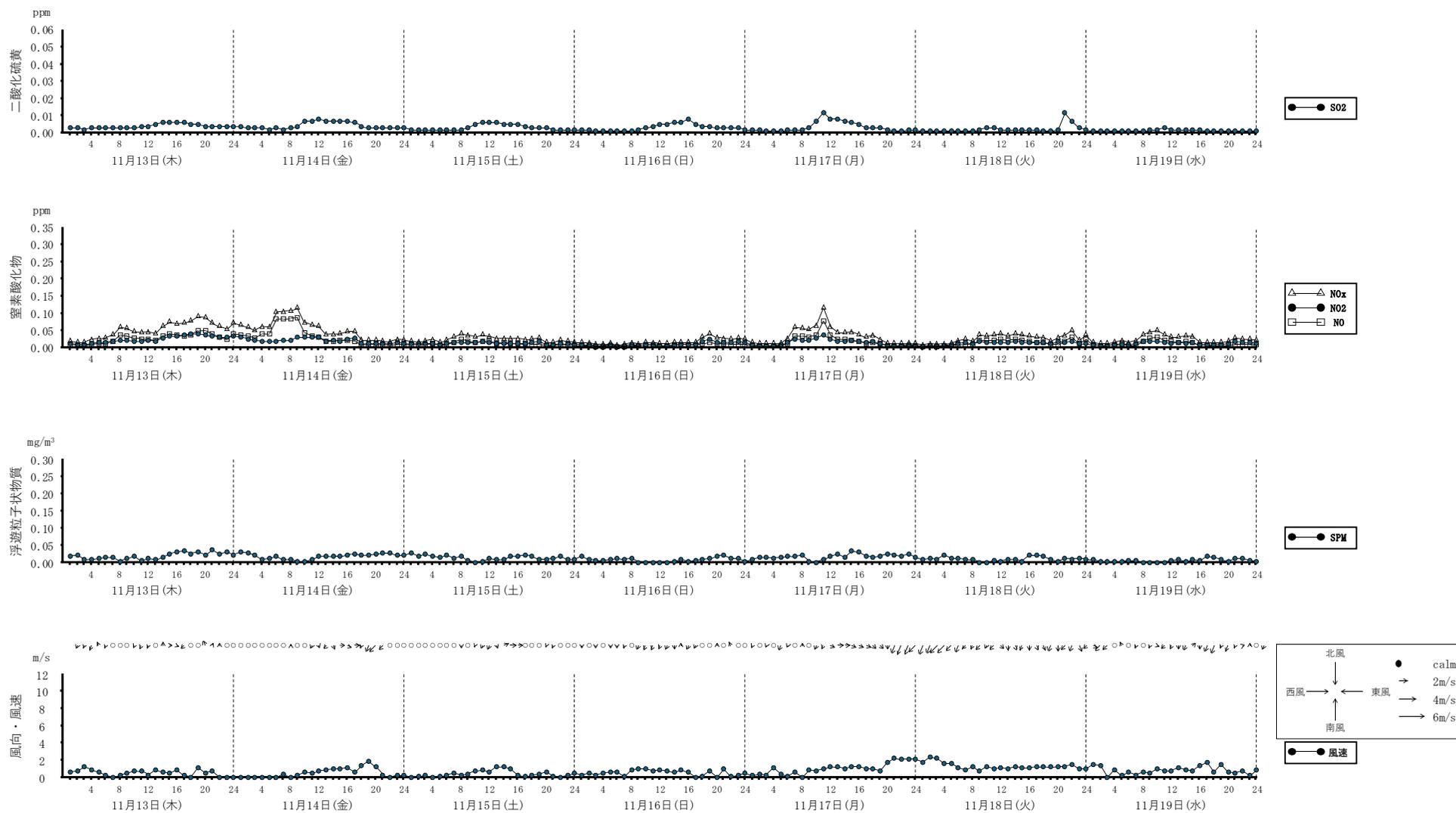


図 3 - 6 大気質・気象時系列変化図 (令和 7 年 11 月 13 日 ~ 11 月 19 日) 測定点 No. 2